

2022年3月期 第1四半期決算 投資家向け説明会

2021年8月11日

ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」（https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）、SBLA Advisers Corp.（以下「SBLA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミット・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、それぞれSBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド 1」または「SVF1」）とSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド 2」または「SVF2」）を含み、また、SBLAとその関係会社によって運用されているSoftBank Latin America Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」または「LatAm Fund」）を含みます。SBファンド（ビジョン・ファンド 1 及びビジョン・ファンド 2 並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社（SBIAを含む）、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づいたものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びバンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBIA及びSBLAは、SBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを運用しており、ビジョン・ファンド 1 及びビジョン・ファンド 2 を含むSBIAによって運営されているSBファンドはSBIA単独で運営され、またラテンアメリカ・ファンドはSBLA単独で運営されています。

本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4
1米ドル	107.74	105.88	104.45	106.24	110.00			
1人民元	15.16	15.27	15.71	16.31	17.01			
期末レート	2020/6月末	2020/9月末	2020/12月末	2021/3月末	2021/6月末	2021/9月末	2021/12月末	2022/3月末
1米ドル				110.71	110.58			
1人民元				16.84	17.11			

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.および代替の投資ビークル
ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SoftBank Latin America Fund L.P.
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
スプリント	Sprint Corporation
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
アーム	Arm Limited
アリババ	Alibaba Group Holding Limited
WeWork	WeWork Inc.

財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK、アーム、SVF1、SVF2、ラテンアメリカ・ファンド、PayPay、フォートレス、SBIナジー等です

FY2021 Q1総括*1

前年同期を上回る投資利益を計上、新規投資のペースを加速しつつ 安定的な財務状況を維持

投資事業の成果

- **投資利益は1兆2,631億円**
 - 投資事業は引き続き堅調、当期利益*2は7,615億円に
 - SVF1&2以外の投資事業も投資利益に寄与
 - 高水準のNAVを維持
- **積極的な新規投資と投資回収の進展**
 - 投資：\$15.6B（SVF1&2）、\$0.8B（ラテンアメリカ・ファンド）
 - 投資回収：合計\$6.8Bの投資の一部売却や資金化（SVF1&2）
 - 分配：合計\$3.6B*3の分配金受領（SBG）。投資からの分配を再投資へ

財務活動

- **安定的な財務状況を維持しつつ、リファイナンス等を実施**
 - 資金調達：社債発行 1兆2,189億円（7月発行外債含む）
アリババ株式を活用したファイナンス 2,226億円（ネット）
 - 前倒しでリファイナンスの手当が進む
 - LTV16.2%、手元流動性 2.1兆円*4

*1 別途記載がある場合を除き、2021年6月30日時点

*2 親会社の所有者に帰属する純利益

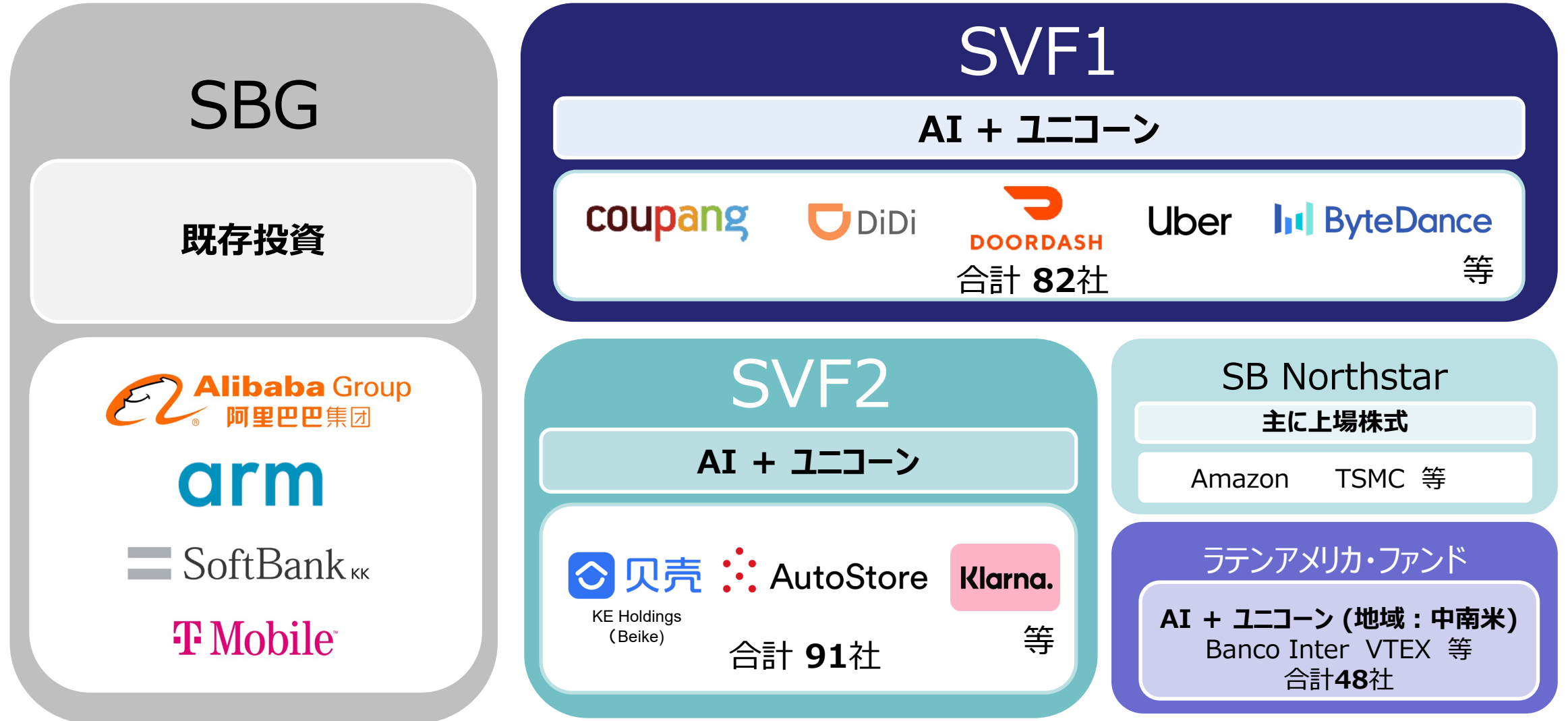
*3 インセンティブスキームへの分配金（\$224M）を含む。

*4 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットメントライン未使用枠。2021年6月末のコミットメントライン未使用枠なし。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

-
- **投資事業の成果**
 - 財務の状況
 - 財務戦略
 - ESGの推進

グループの投資活動

複数の投資エンティティがそれぞれの分野で活動し、本格的なAI時代の到来に備える



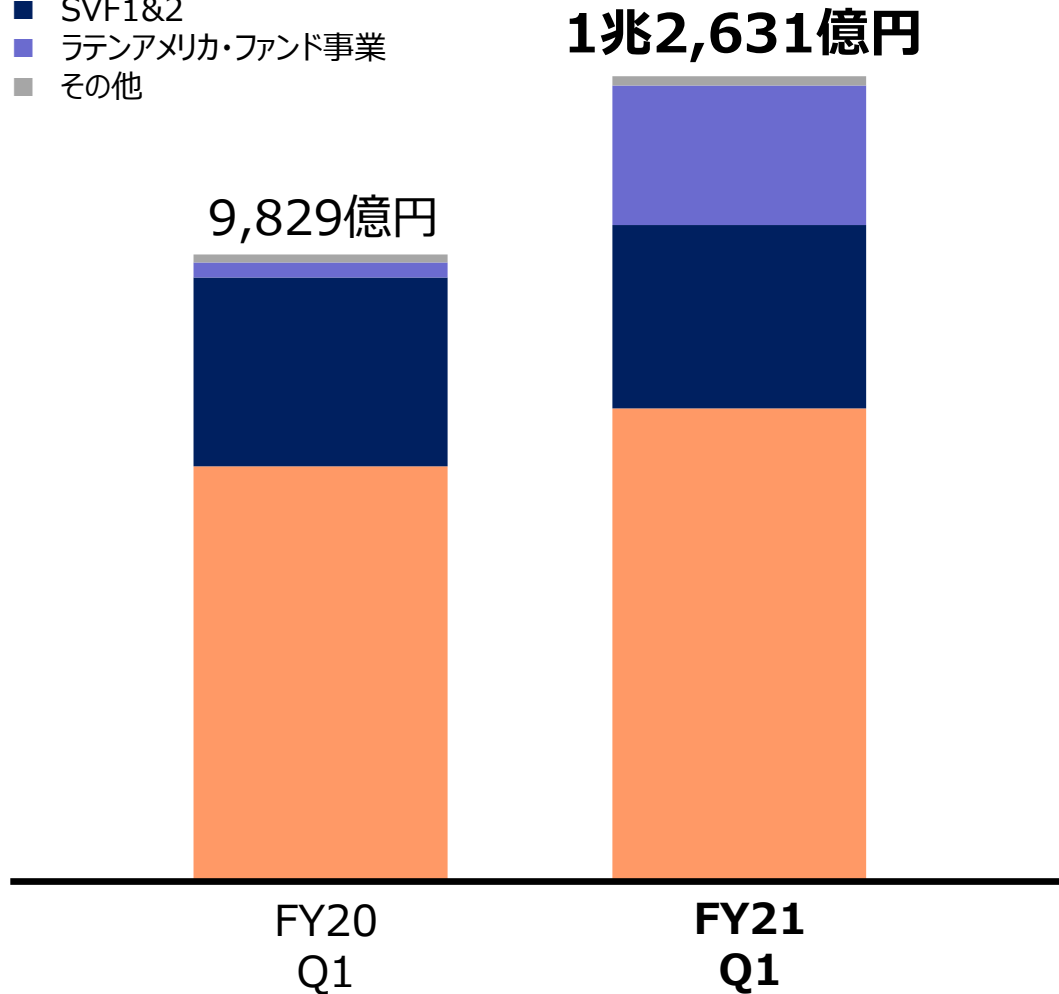
(注) 2021年6月30日時点。本頁の情報はグループの投資活動の説明目的でのみ記載されており、各投資エンティティの投資対象を網羅するものではない。

投資利益・純利益

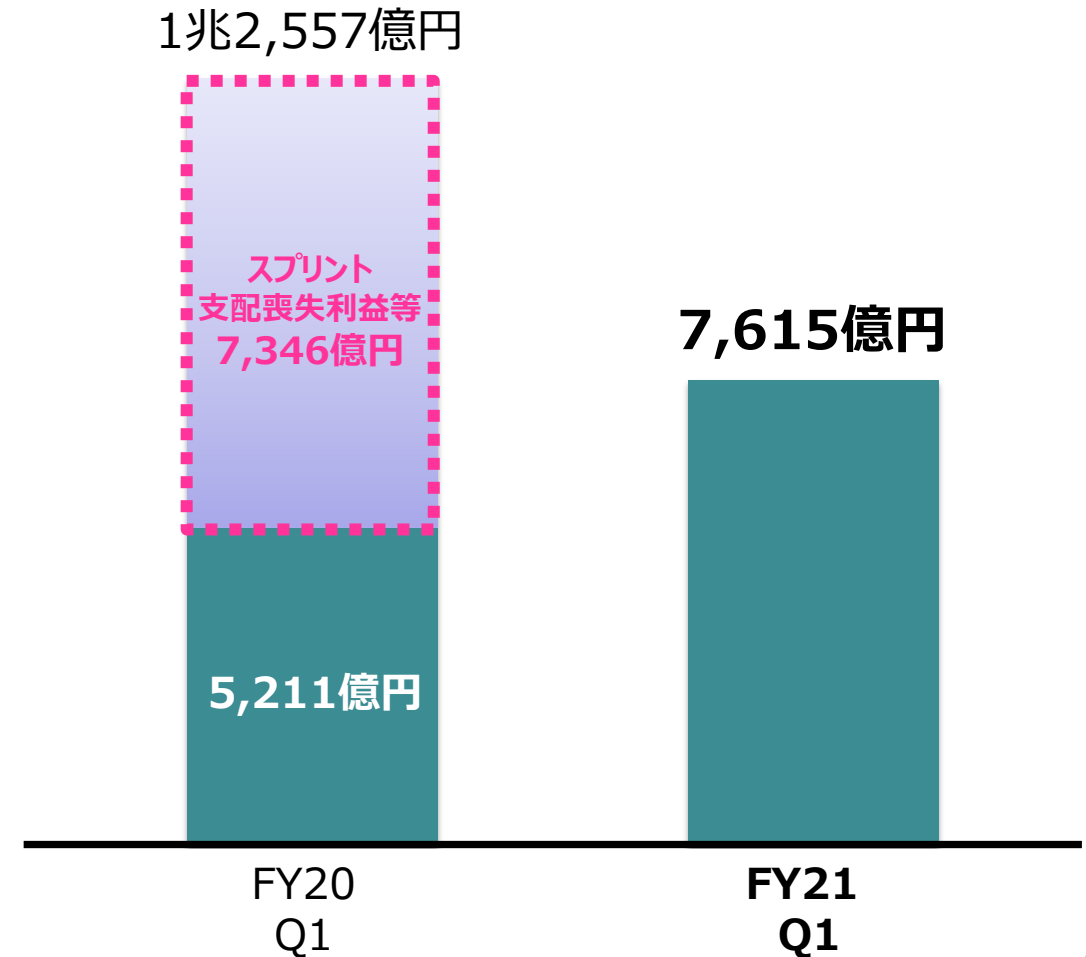
前年同期を上回る投資利益を計上

投資損益

- 持株会社投資事業
- SVF1&2
- ラテンアメリカ・ファンド事業
- その他



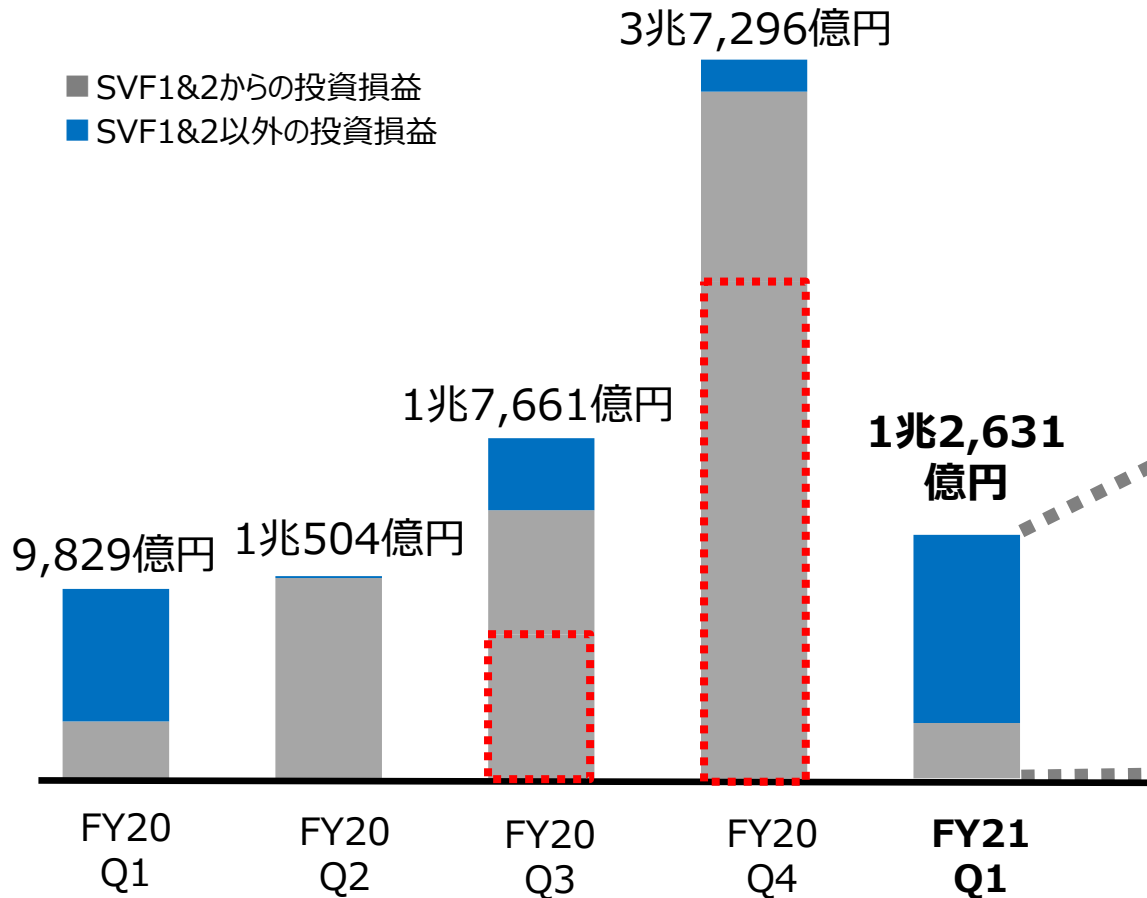
純利益 (親会社の所有者帰属分)



投資利益の推移と内訳

ポートフォリオの分散化により、多様なアセットから投資利益を計上

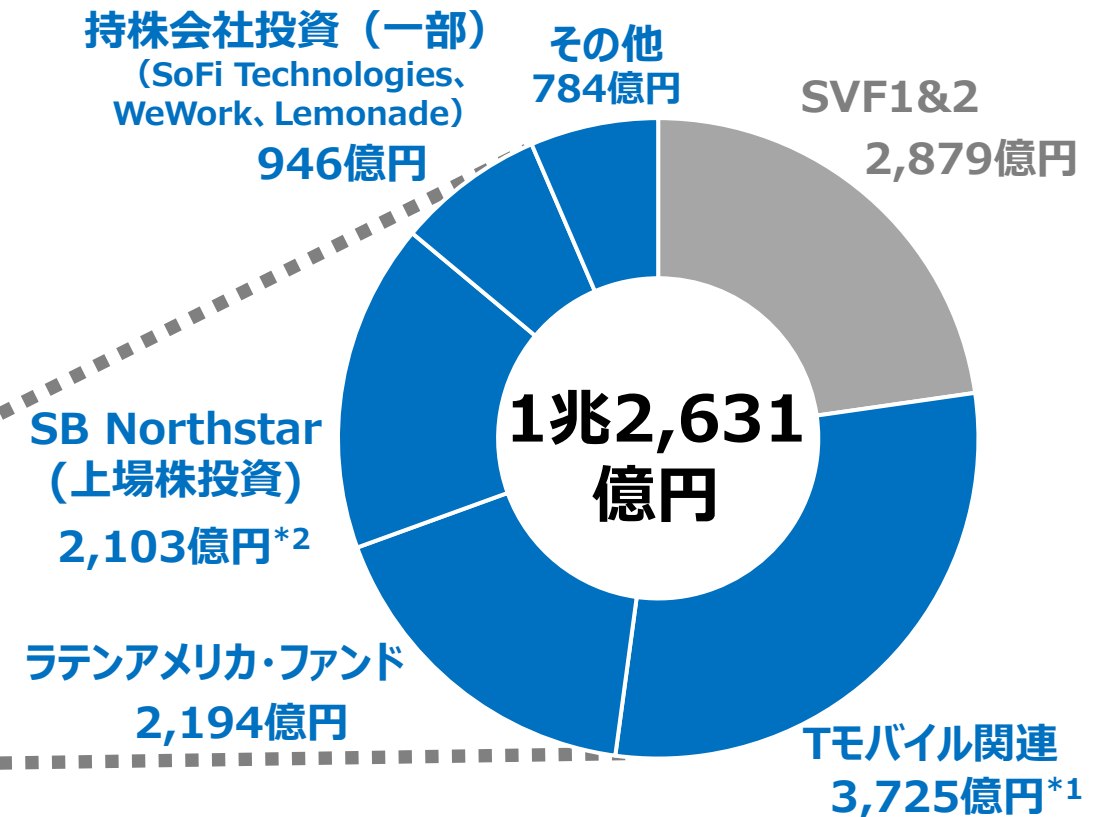
四半期推移



DoorDash他
新規上場

Couping他
新規上場

FY21Q1の内訳



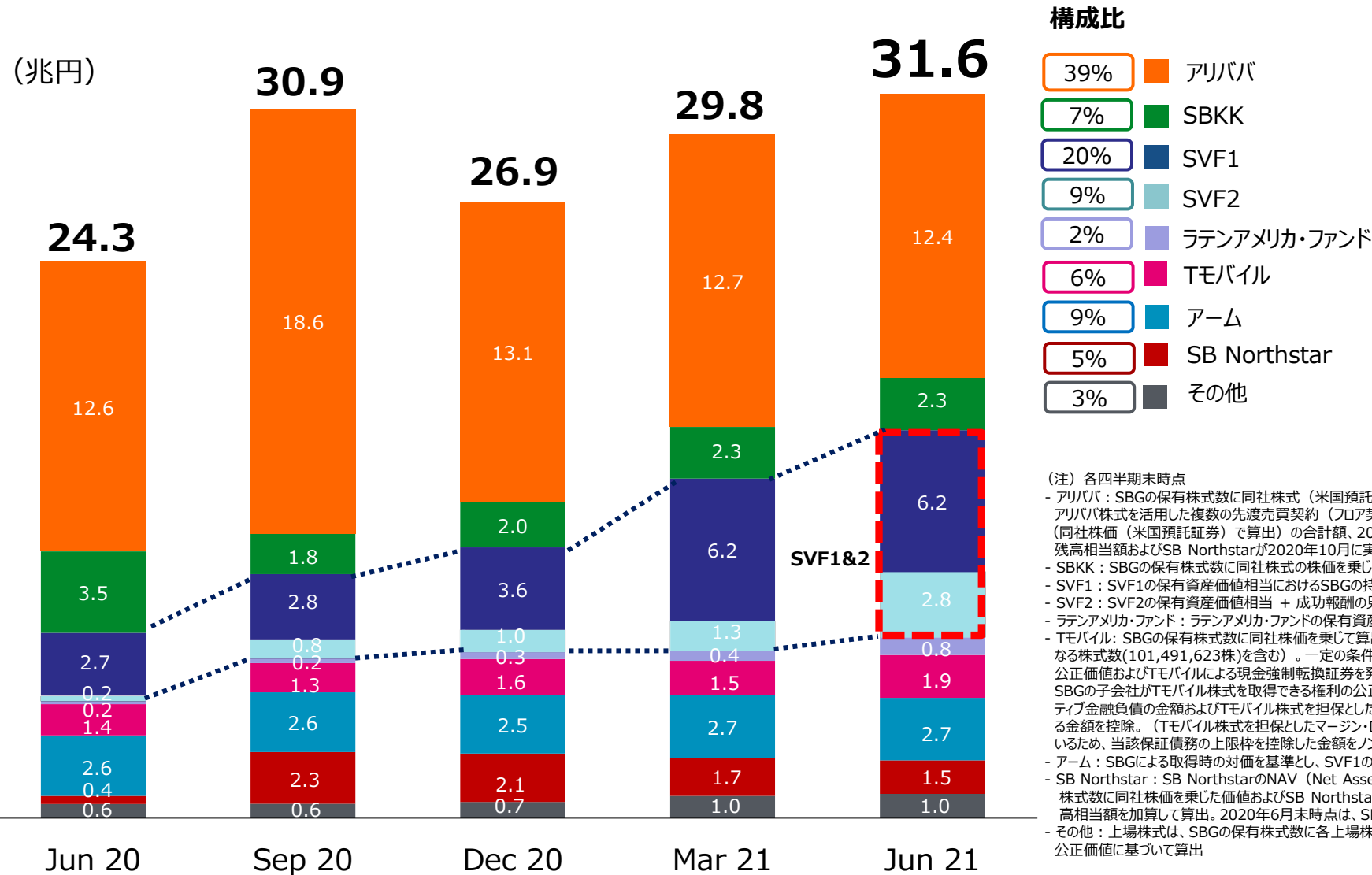
*1 Tモバイル株式に係る未実現評価益 (2,285億円)、条件付対価の公正価値上昇に伴うデリバティブ利益 (1,978億円) およびDeutsche Telekomの株式購入オプションの公正価値上昇に伴うデリバティブ損失 (538億円) の合計

*2 SBGおよびSB Northstarの上場株式投資に係る投資損益の合計

保有株式価値

保有株式価値は31.6兆円。引き続き高水準を維持

アセットファイナンス除く



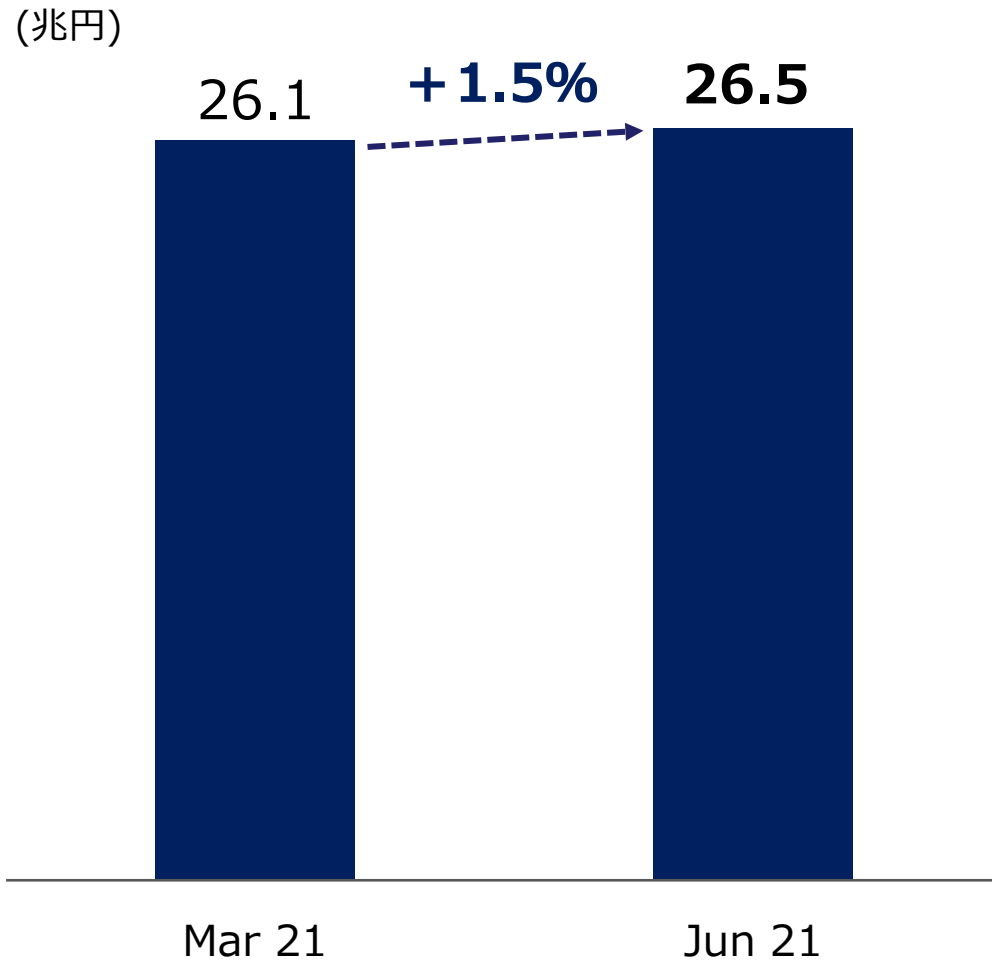
(注) 各四半期末時点

- アリババ：SBGの保有株式数に同社株式（米国預託証券）の株価を乗じ算出。アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額、2021年3月および6月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額およびSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除
- SBKK：SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出。SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額を控除
- SVF1：SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2：SVF2の保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- ラテンアメリカ・ファンド：ラテンアメリカ・ファンドの保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出（ドイツテレコムが受領した株式購入オプションの対象となる株式数(101,491,623株)を含む）。一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値およびTモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加算。ドイツテレコムが受領した株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額およびTモバイル株式を担保としたマージン・ローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額を控除。（Tモバイル株式を担保としたマージン・ローン（借入総額\$4.38B）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としている）。
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SB Northstar：SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値およびSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を加算して算出。2020年6月末時点は、SBGの上場株投資の価値を記載
- その他：上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

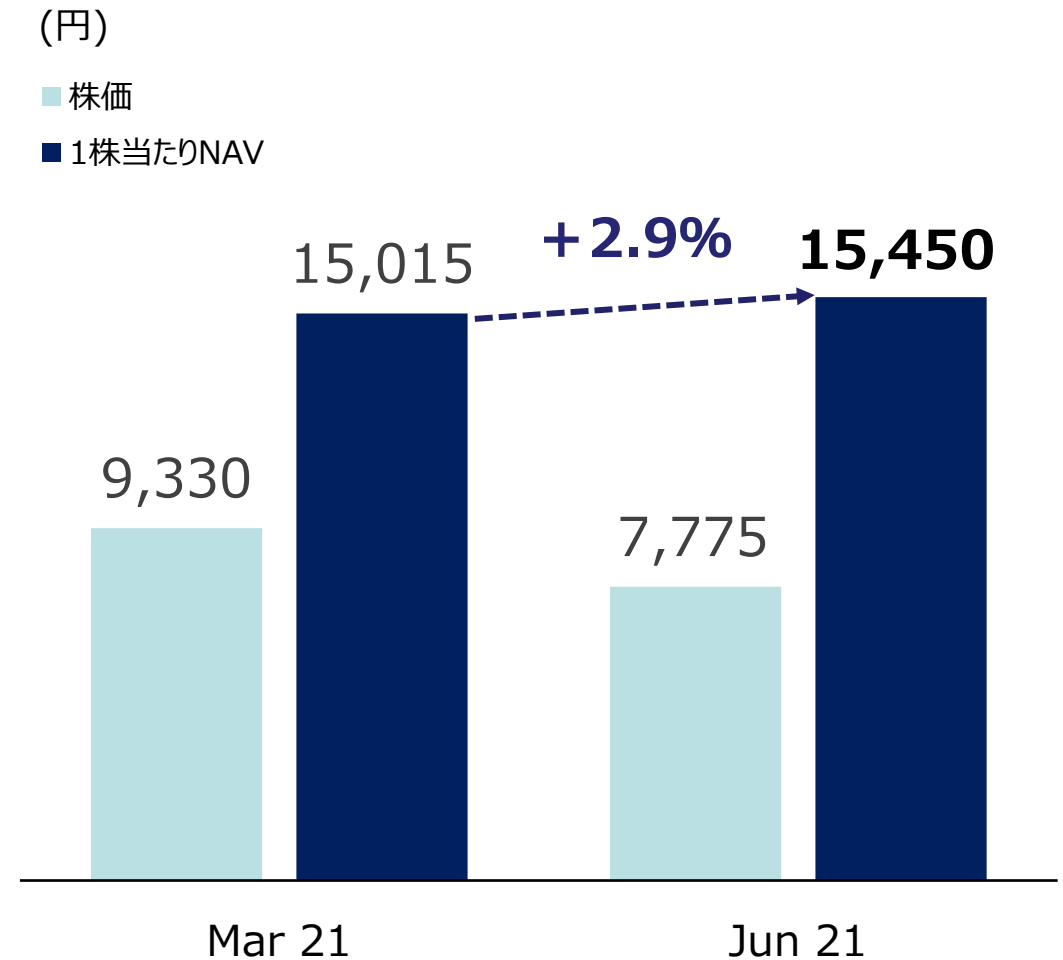
1株当たりNAVの上昇

NAV、1株当たりNAVともに前期末から同水準を維持

NAV (Net Asset Value)



1株当たりNAV*1と株価



(注) 各四半期末時点

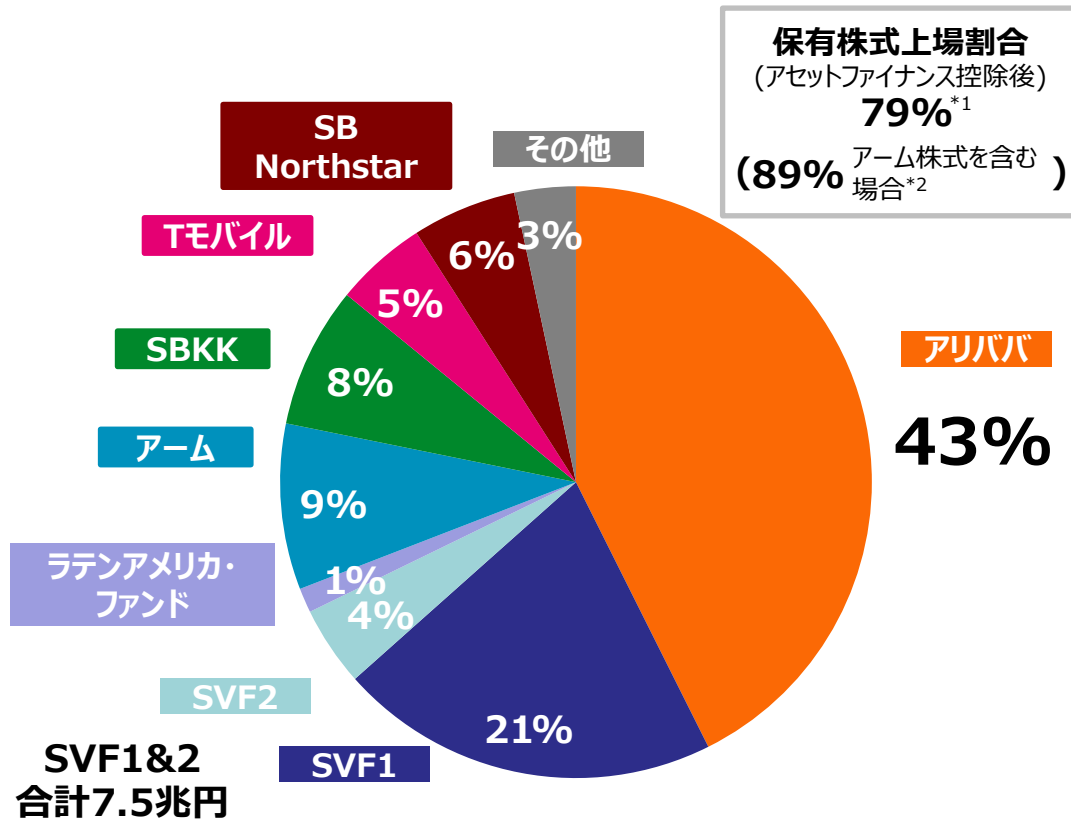
*1 1株当たりNAV = NAV ÷ 発行済株式総数 (自己株式を除く)

保有株式価値：ポートフォリオの分散

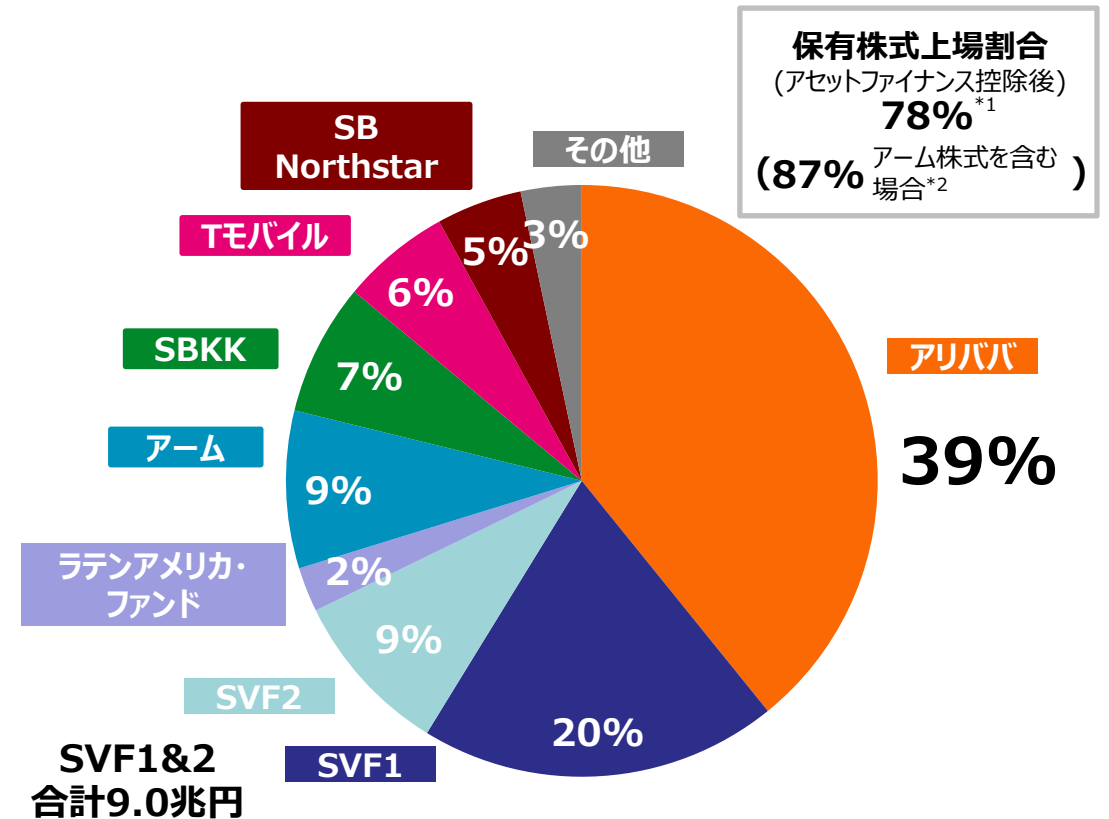
SVF1&2の価値増加により資産の多様化が進む

アセットファイナンス除く

2021年3月末



2021年6月末



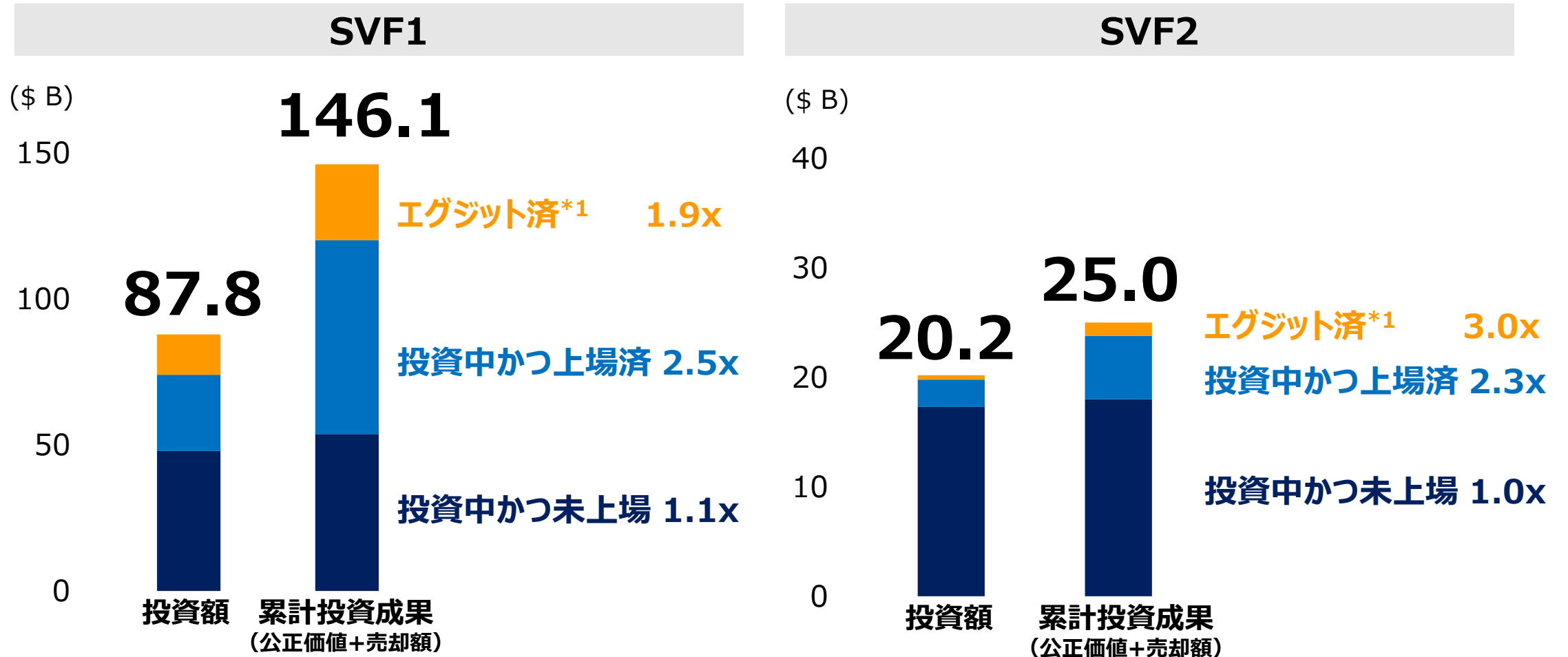
(注) 保有株式価値の内訳についての注記は、財務編p7を参照

*1 保有株式価値（総額）に占める、上場株式の割合。アリババ、SVF1・SVF2・ラテンアメリカ・ファンドが保有する上場株式、SBKK、Tモバイル、SB Northstar、およびその他のうちの上場株式を含む（ただし、SVF1はSBGの持分のみを含む）。また、将来のSPAC取引を公表済の投資先は、SPAC取引の発表日以降上場株式とみなす。

*2 上記*1で述べた上場株式に加えて、アーム株の売却先であるNVIDIAが上場しているため、本資料では上場株式とみなす。これはその他の開示における取り扱いと異なる可能性がある。

SVF1&2：累計投資成果（SBG連結ベース、2021年6月末時点）

SVF1では投資先の上場が加速する一方、SVF2では新規投資が増加



(注)

1. 当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めていない。

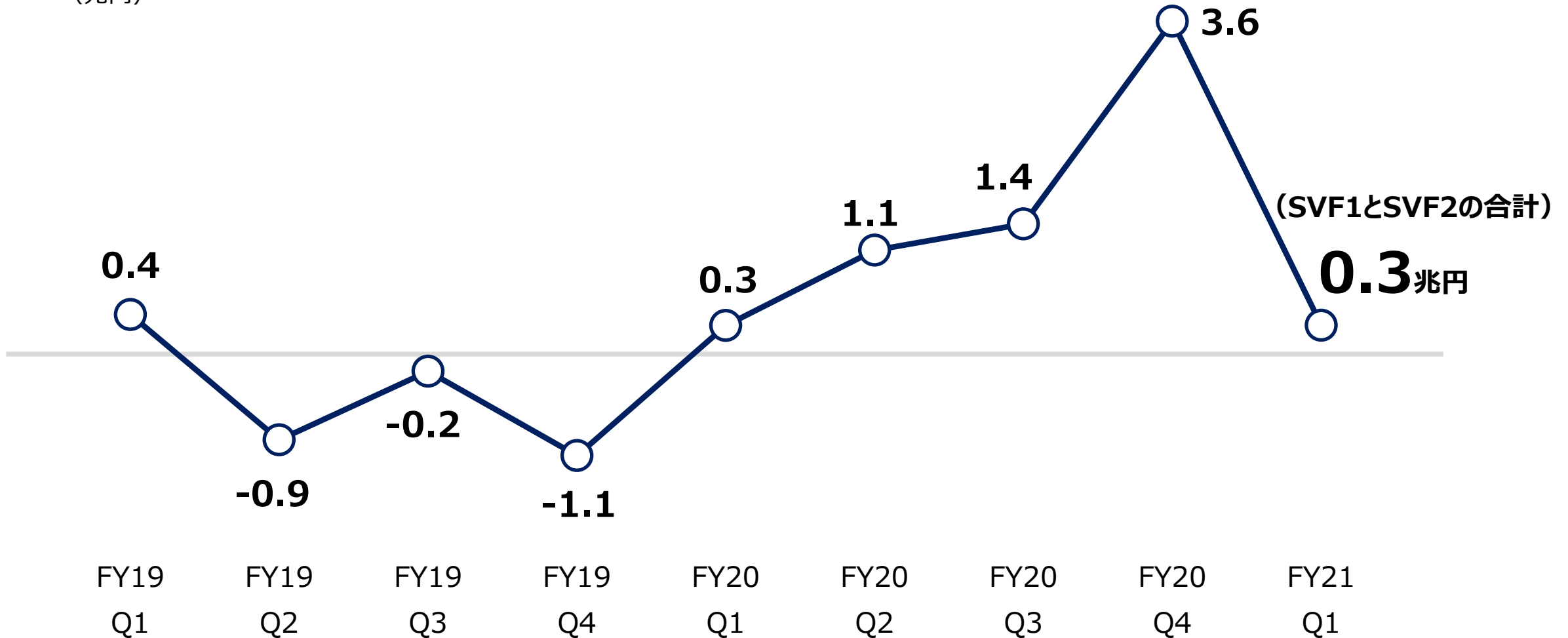
2. 外部投資家持分および税金等の控除前

*1 エグジット済には、投資先に係るデリバティブ関連損益および投資先からの受取配当金を含む。

SVF1&2：投資損益（SBG連結ベース）*1

FY21Q1で0.3兆円の投資利益を計上

(兆円)



*1 SVF1&2の投資損益

SVF1&2の主な投資活動（FY21Q1）：新規上場・投資回収

大型上場に加え、投資回収も進展

新規上場

2021年6月末
公正価値

	会社名	取引	公正価値
SVF1	DiDi	IPO	\$ 13.7B
	满帮 Full Truck Alliance	IPO	\$ 4.0B
	COMPASS	IPO	\$ 1.7B
	zymergen	IPO	\$ 1.1B
SVF2	JDL 京东物流 (JD Logistics)	IPO	\$ 0.6B
	叮咚买菜 (Dingdong)	IPO	\$ 0.5B
	满帮 Full Truck Alliance	IPO	\$ 0.5B
	掌门教育 zhangmen.com	IPO	\$ 0.1B

売却

SVF1	DOORDASH	一部
	Uber	一部
	GUARDANT	一部 等、合計6社
SVF2	贝壳 KE Holdings (Beike)	一部

(注) 投資の売却又はIPOに関する情報への言及は、SVF1およびSVF2の過去及び現在の投資対象のうち上場に係る情報の提供のみを目的としており、SVF1およびSVF2の投資対象の全てを網羅するものではない。SVF1およびSVF2の特定の投資対象に関する情報への言及は、特定の投資対象又は有価証券の勧誘として解釈してはならない。過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではない。SBIAが、同社の投資に係る目的、方針及び戦略を実行又は達成するという保証はない。本資料に記載される計画の実現は、投資家の同意又は監督官庁の承認等の不確実性とリスクを含み、ここに記載の全て又は一部の条件で実現することを保証するものではない。

SVF1&2の主な投資活動（FY21Q1）：新規投資

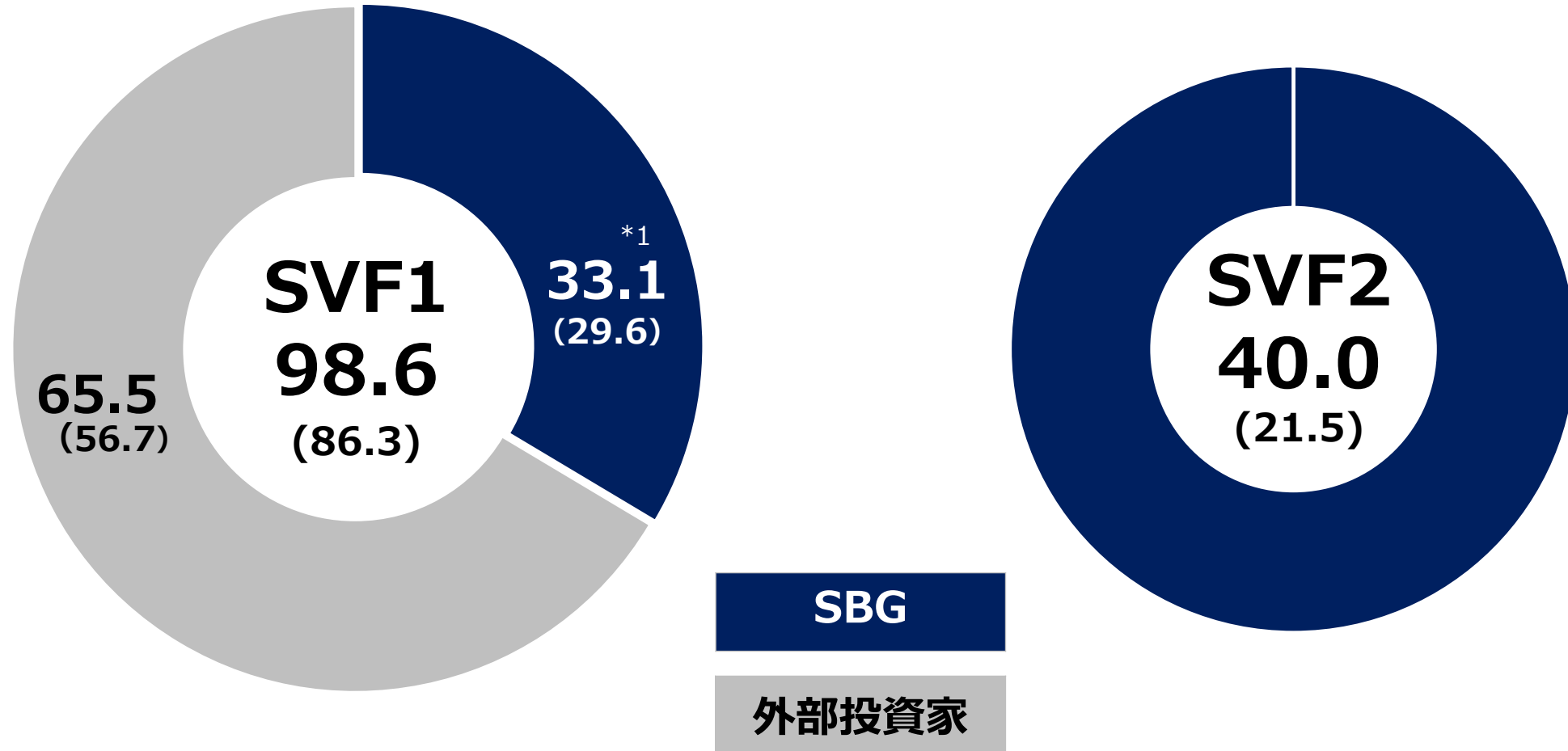
合計\$13.5Bの新規・追加投資を実行

ファンド	投資先（アルファベット順）		セクター
SVF2	AutoStore	AutoStore	ロジスティクス
	Better	Better	フィンテック
	CONTENTSSQUARE	Content Square	エンタープライズ
	cybereason®	Cybereason	エンタープライズ
	叮咚买菜	Dingdong	コンシューマー
	INMOBI	InMobi	コンシューマー
	JDL 京东物流	JD Logistics	ロジスティクス
	JELLYSMACK	Jellysmack	コンシューマー
	SambaNova SYSTEMS	SambaNova Systems	フロンティアテック
	trax	Trax	エンタープライズ
		その他37銘柄	

合計47銘柄に
新規投資

SVF1&2 : コミットメント状況 (2021年6月末時点)

(\$ B)

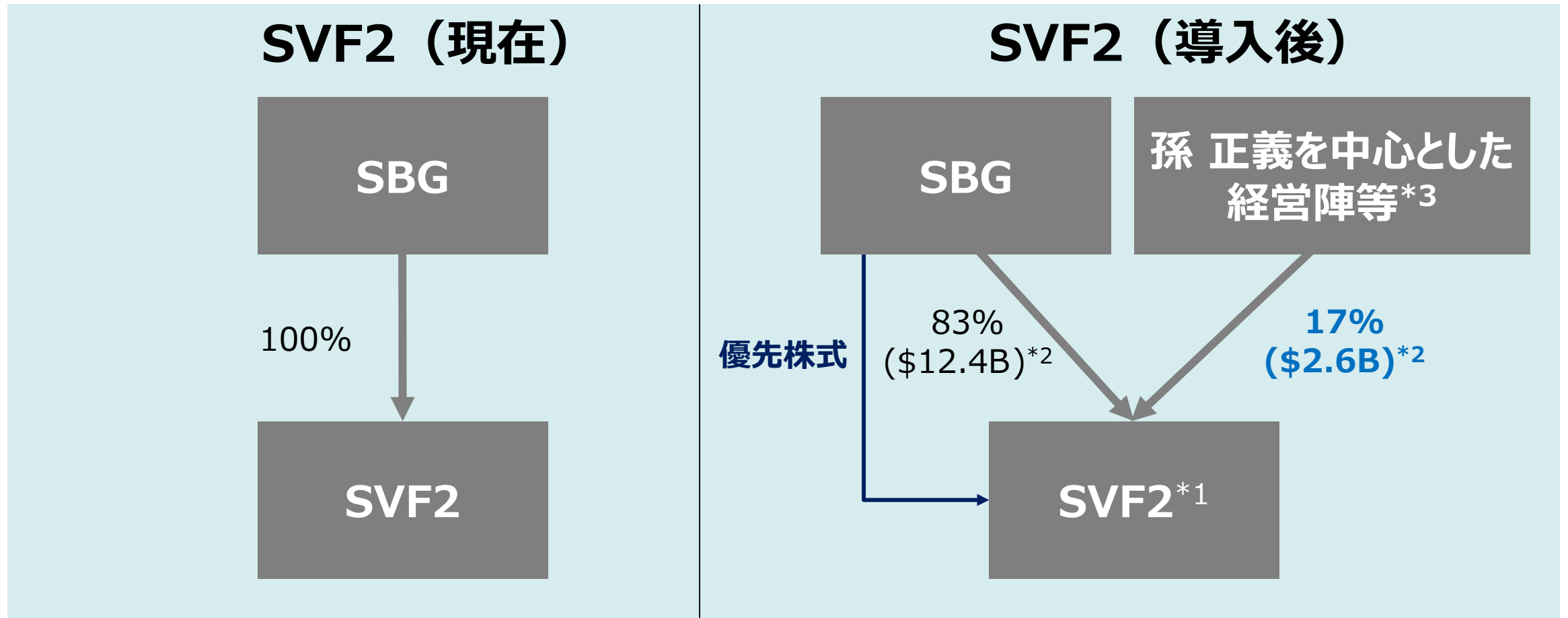


※ 括弧内は履行済み金額

*1 SVF 1 への当社の出資コミットメントは、アーム株式を活用した\$8.2B相当の支払義務履行分（全該当株式を抛出済み）のほか、SVF1に関連するインセンティブ・スキームへ活用される予定の\$2.5Bを含む

SVF2共同出資プログラムの導入

経営陣がSBGと共同出資し、利害を共有したうえ当事者意識をもってSVF2に一層専心することで、SBGの収益拡大に寄与することを目的に導入



*1 2021年6月23日時点で上場済または上場発表済の投資先、並びに、SBG取締役会で本プログラムの対象から除外することが承認された投資先を除く

*2 出資額は2021年8月10日時点の暫定値でありクロージングまでに変動する可能性あり

*3 孫 正義以外の経営陣の参加は2021年8月10日現在未決定だが、将来的に参加を予定

補足事項

- ◆ **本プログラム導入は、SBGにとってはリスク・リターン・プロファイルが改善（厚いダウンサイド・プロテクション）**
- ◆ **孫 正義を中心とした経営陣等*¹は出資相当額までの損失も負担**
- ◆ **孫 正義を中心とした経営陣等*¹への配当には制限があり、公正価値2倍で全制限解除（長期のコミットメント）**
- ◆ **SBGからの今後の資金拠出は原則優先株式で行う*²**

*1 孫 正義以外の経営陣の参加は2021年8月10日現在未決定だが、将来的に参加を予定

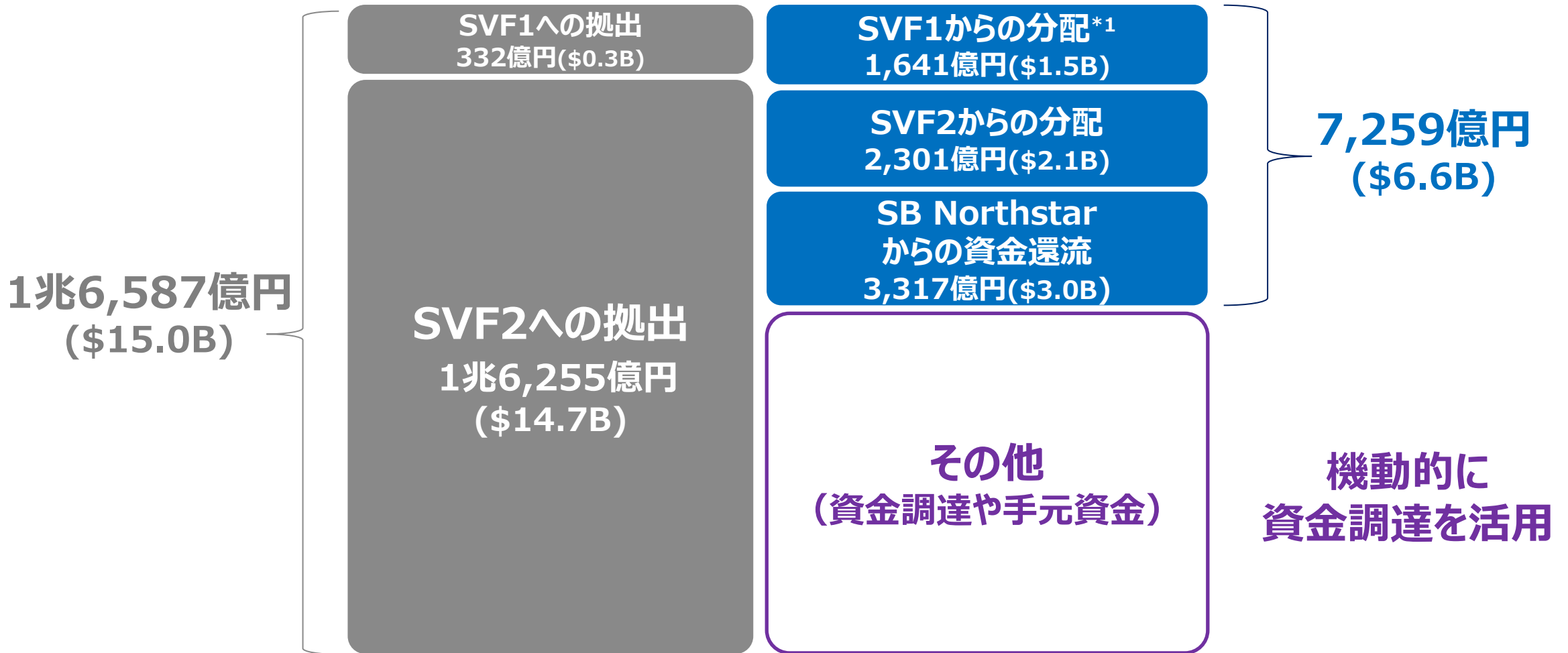
*2 現時点で、2021年6月23日までに取締役会で承認されたSVF2に対するコミットメント額のうち、2021年6月23日以降に拠出されるものに限る。

投資と回収のサイクル (FY21Q1)

7,259億円の投資資金を回収。SVF2への投資原資に

投資に伴うキャッシュ・アウト

投資回収に伴うキャッシュ・イン



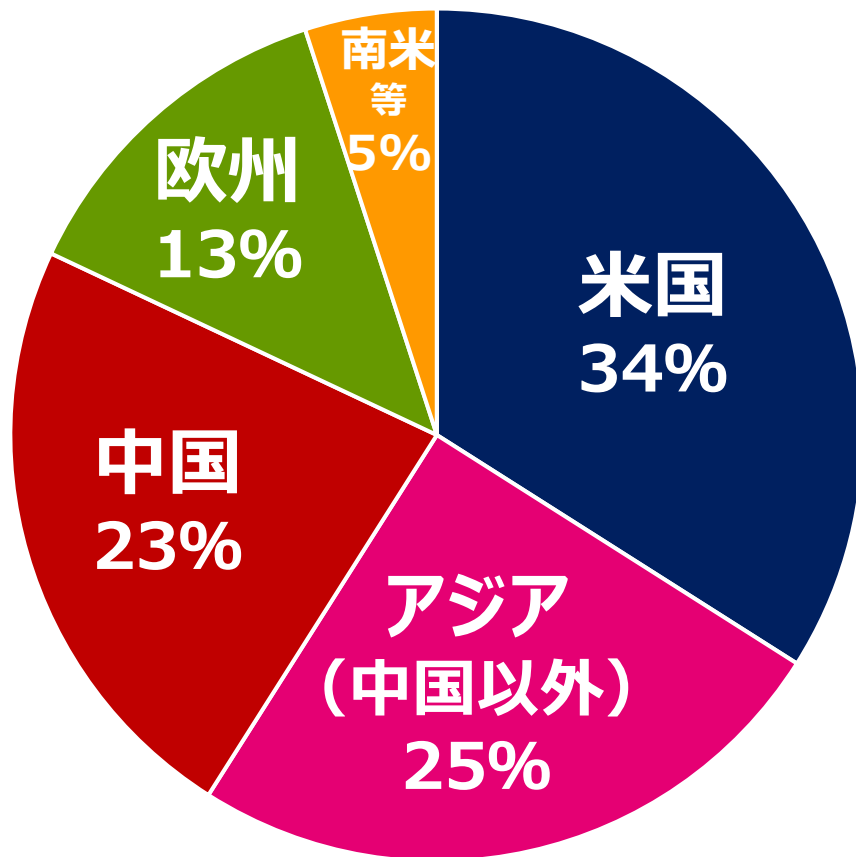
(注) 1USD=110.58円

*1 インセンティブスキームへの分配金 (\$224M)を含む。

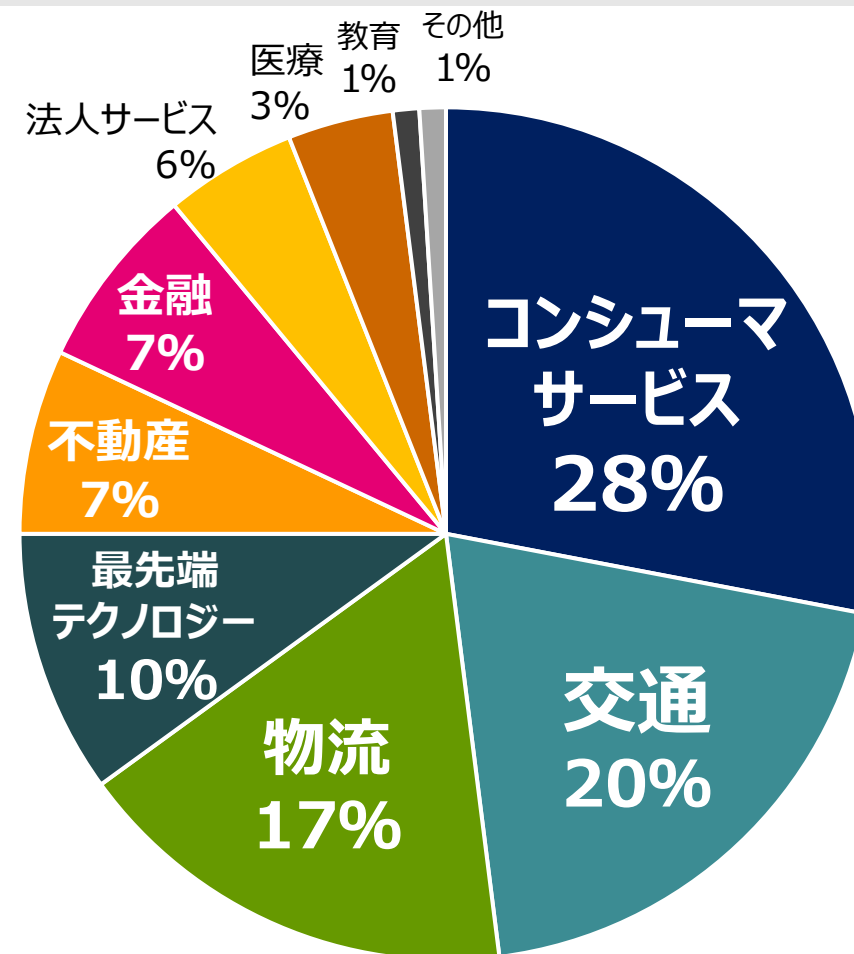
(21年7月末時点・売却済除く)

幅広い地域、業種へ投資

国・地域別

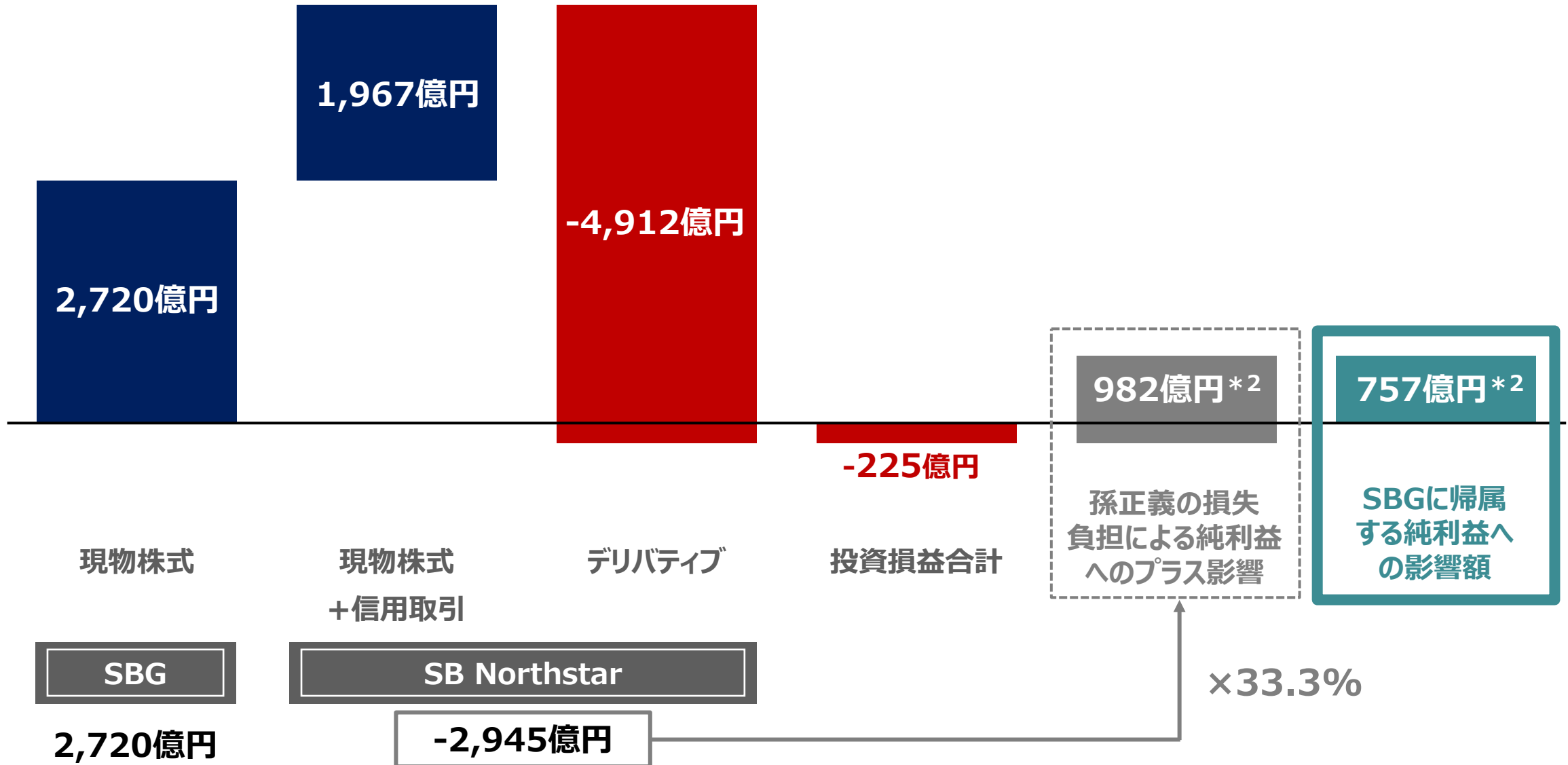


業種別



(注)
 1. SVF1&2およびラテンアメリカ・ファンド等：SVF1、SVF2、ラテンアメリカ・ファンド、その他のSBGによる上場投資および非上場投資（アリババ、Tモバイル、SBKK、アーム、SB Northstarを除く）
 2. 時価：上場株は2021年7月30日終値、非上場株は2021年6月末時点の公正価値に基づき算出、売却済除く。
 3. 国・地域：投資先の本社所在地に基づき定義、一部LP出資の案件を除く。
 4. 業種：SVF1・SVF2はSBIA、ラテンアメリカ・ファンドはSBIA、その他のSBGによる上場投資および非上場投資はSBGが合理的と考え決定した区分に基づき定義

SB Northstar : 累計投資損益*1



*1 SBGが保有するNVIDIA Corporation株式に係る投資損益を含む。

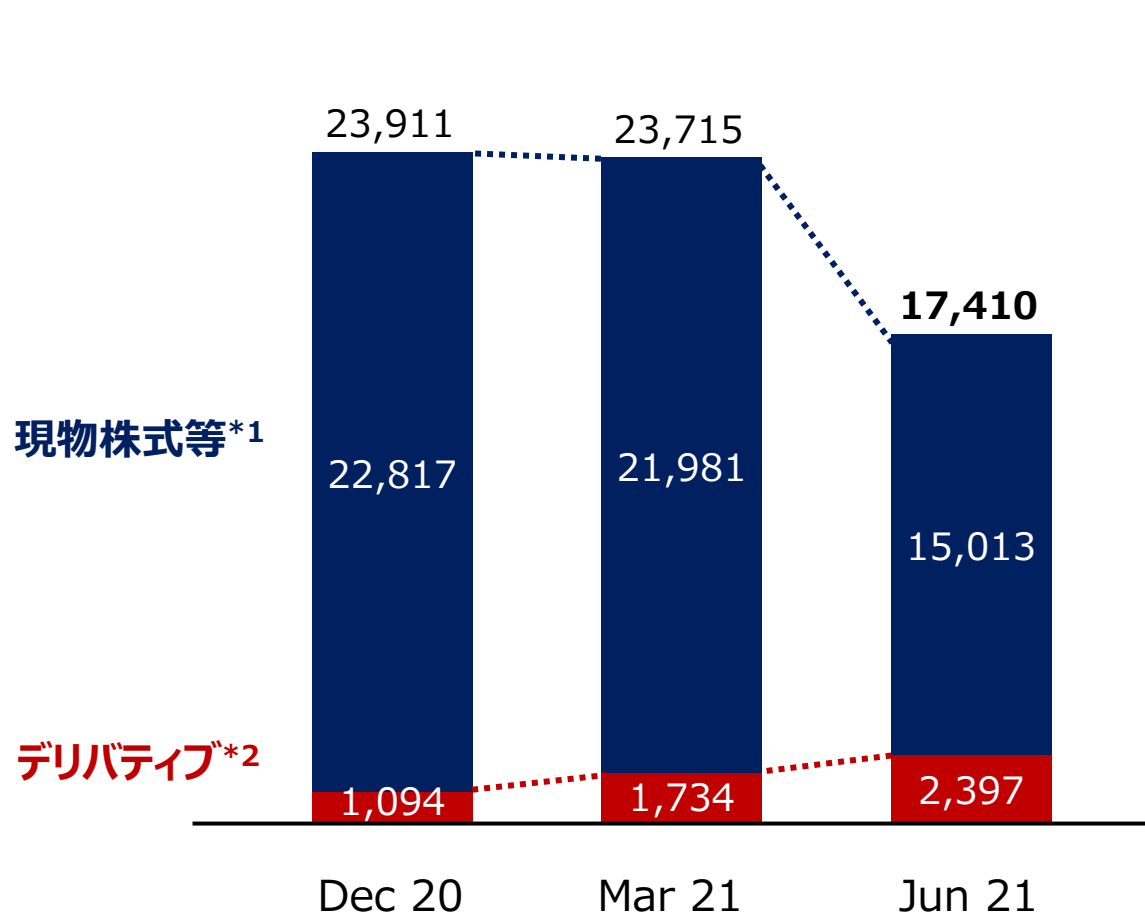
*2 販売費及び一般管理費や税金費用などの影響を含まない。

SB Northstar : 運用資産の状況 (2021年6月末時点)

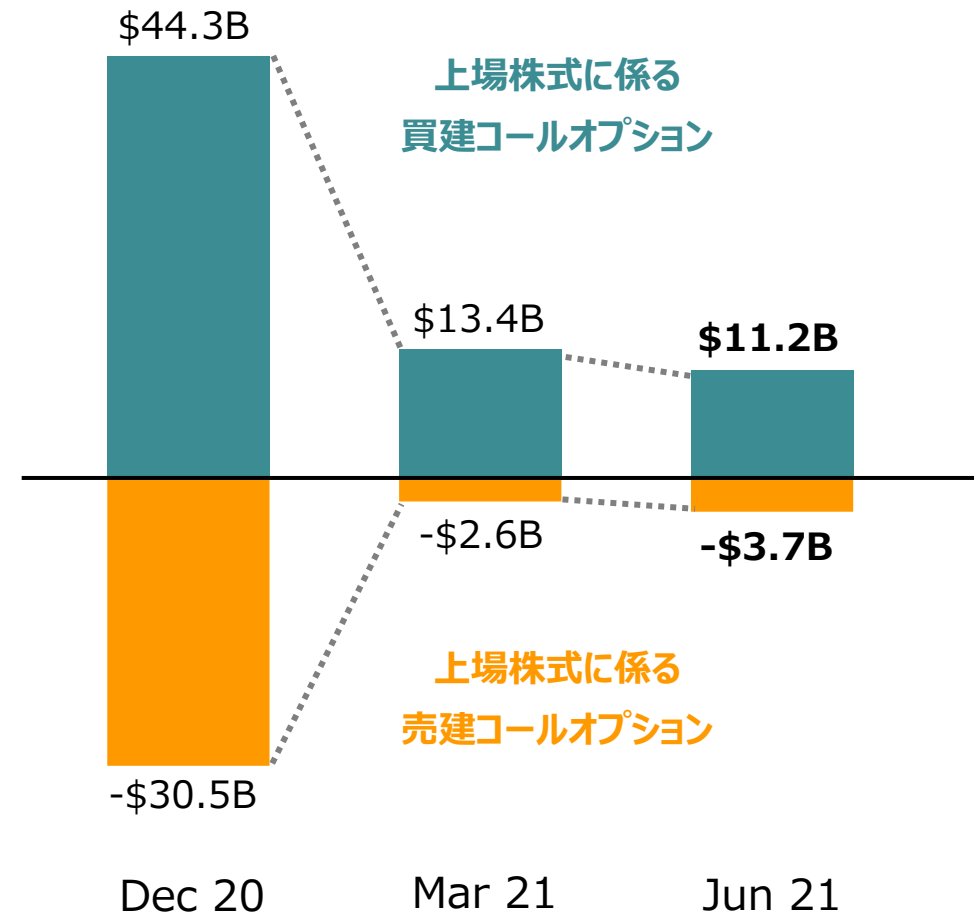
投資規模は減少傾向

現物株式等およびデリバティブ (公正価値)

(億円)



オプション想定元本



*1 SBGが保有する現物株式とSB Northstarの投資 (現物株式、担保差入有価証券および転換社債) の合計

*2 SB Northstarにおけるデリバティブ金融資産とデリバティブ金融負債の純額

- 投資事業の成果
- **財務の状況**
- 財務戦略
- ESGの推進

FY2021の主な財務活動

財務柔軟性を確保する多様なファイナンスを実施

国内ハイブリッド社債の1stコールに備えたリファイナンスも完了

社債発行

国内リテールハイブリッド社債の発行（6月）	4,050億円
2016年発行国内ハイブリッド社債の任意償還の通知（9月償還予定）	-4,556億円
外貨建シニア社債の発行 ^{*1} （7月）	8,139億円 (\$7.4B)

アリババ株式を活用したファイナンス

株式先渡契約の解約と新規契約（4-5月）	解約：-3,163億円 (-\$2.9B)	} ネット金額： +153億円 (+ \$0.1B)
	新規契約：3,316億円 (\$3.0B)	
マージン・ローンの増額（6月）	2,073億円 (\$1.9B)	

(注) 社債の発行・償還金額は額面ベース

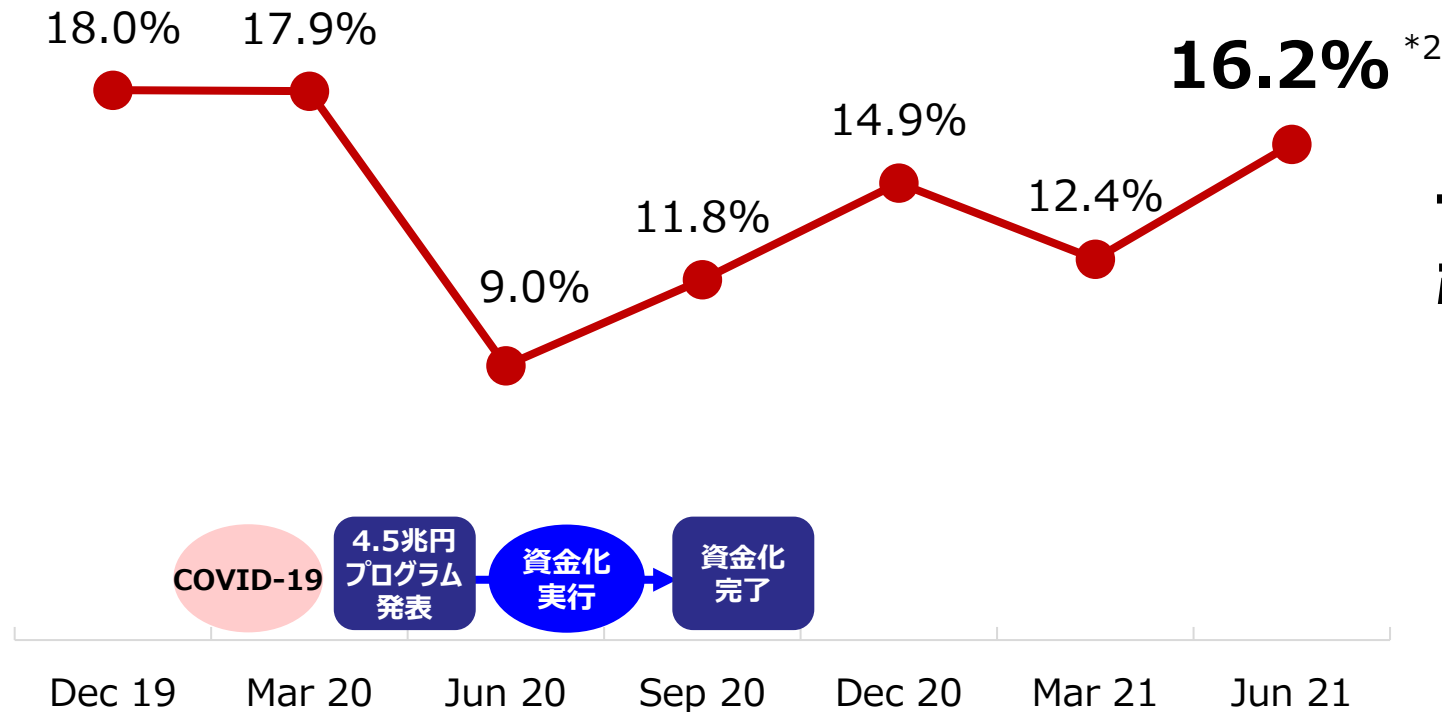
*1 1USD=110.58円、1EUR=131.58円

LTVの推移

アセットファイナンス除く

LTVの推移 *1

25%



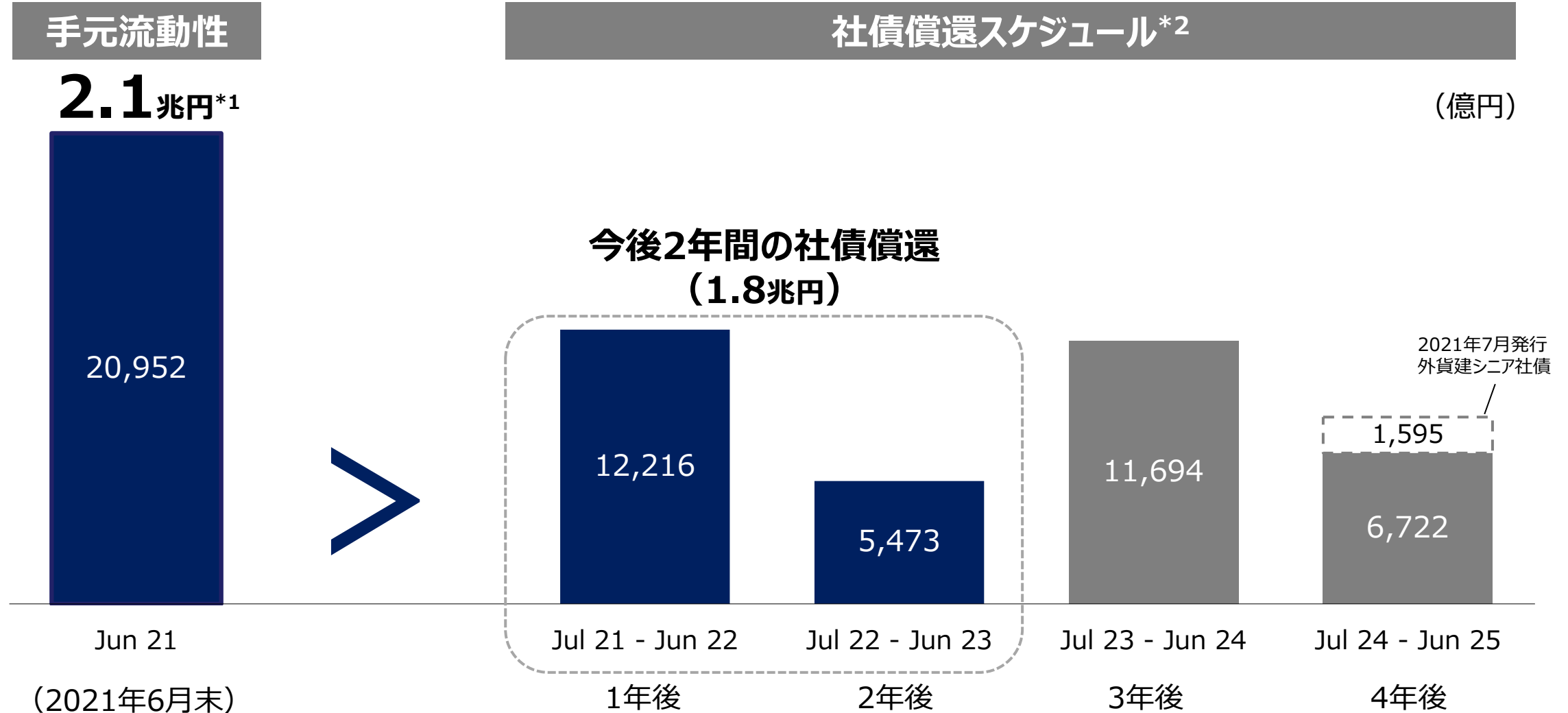
十分な財務バッファーを
引き続き確保

*1 各四半期末時点の数値を記載

*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

手元流動性

常に社債償還2年分を超える潤沢な手元流動性を維持



*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットメントライン未使用枠。2021年6月末のコミットメントライン未使用枠なし。SBG単体ベース (SB Northstarを除く)

*2 社債償還金額はバイバックにより取得した自己保有社債を除く。

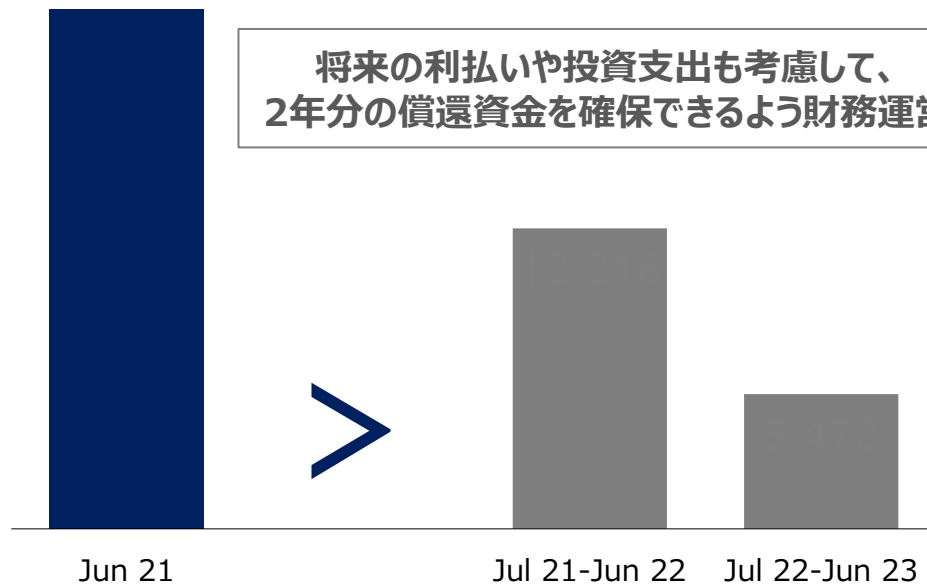
流動性管理の考え方

2年分の社債償還資金を超える手元流動性を維持

SVF1&2からの分配金が期中キャッシュ・フローに寄与（インタレスト・カバレッジ：2.6x）

2年分の社債償還資金を維持

2.1兆円



将来の利払いや投資支出も考慮して、
2年分の償還資金を確保できるよう財務運営

手元流動性*4

社債償還資金

インタレスト・カバレッジ

SBKKからの配当
1,647億円*1



SVF1&2分配金
(直近12ヶ月)
3,942億円*2

支払利息
2,134億円*3

= 2.6x

*1 2021年6月末時点で保有するSBKK株式数と1株当たり配当86円（会社予想）より算出

*2 インセンティブスキームへの分配金（\$224M）を含む。

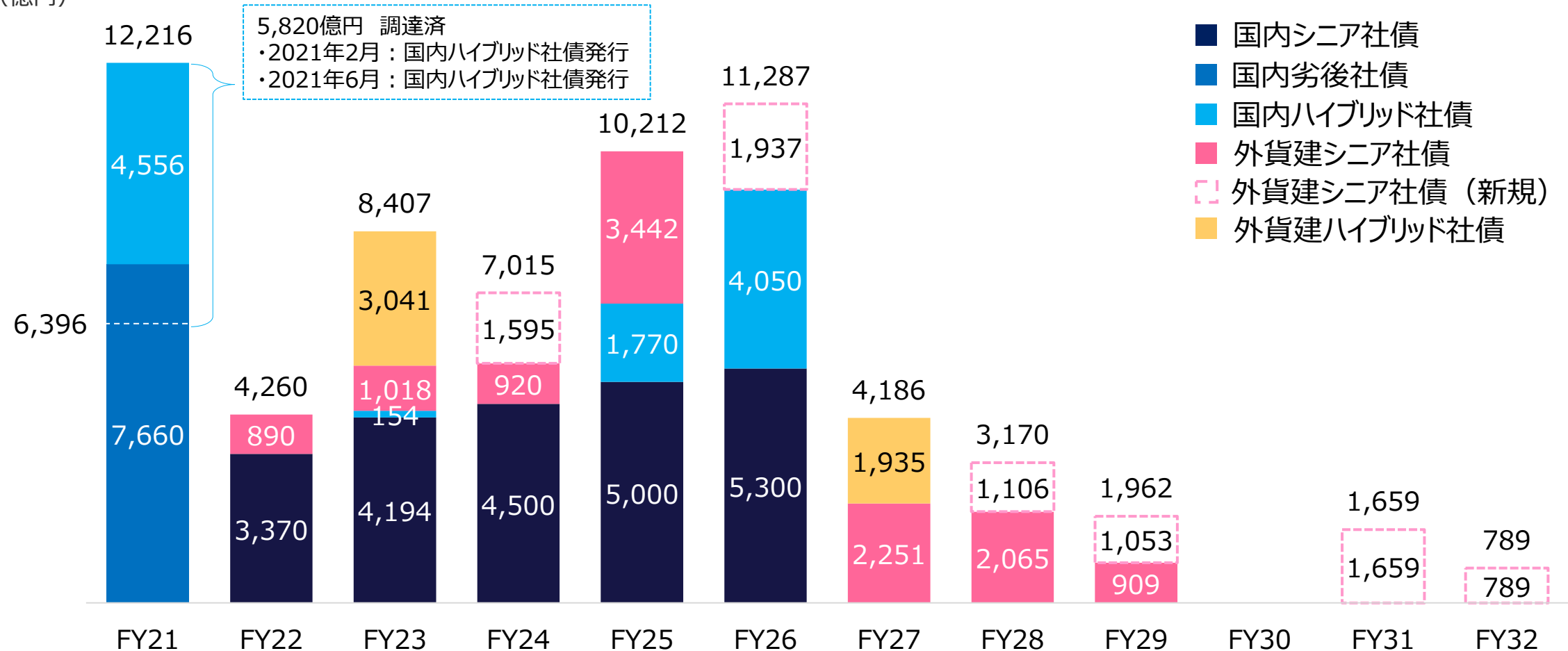
*3 FY2021Q1(LTM)のSBG及び資金調達を行う子会社における支払利息1,833億円+資本に含まれるハイブリッド債の支払利息301億円

*4 現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠。2021年6月末のコミットメントライン未使用枠なし。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

社債償還スケジュール

国内ハイブリッド社債のリファイナンスは完了

(億円)



(注)

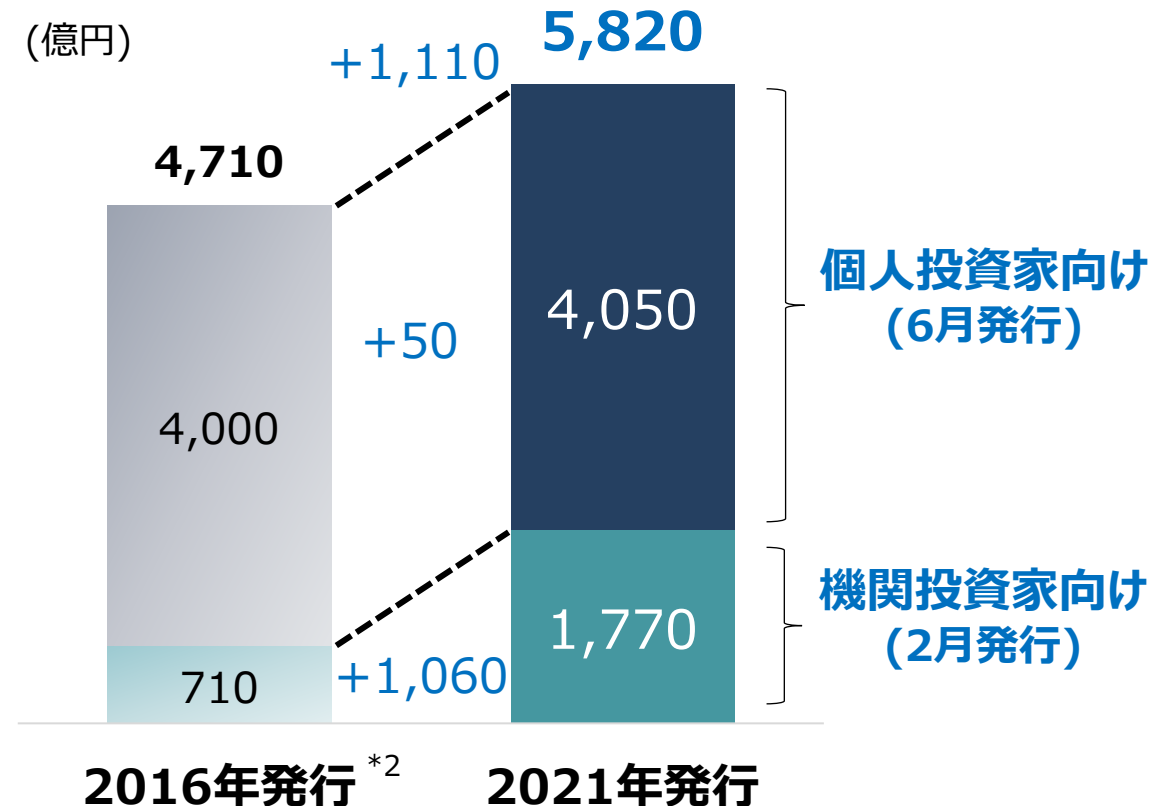
- 2021年6月30日時点発行残高。但し、2021年7月6日に発行した外貨建てシニア社債を含む。
- ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
- 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=110.58円にて換算
- バイバックにより取得した自己保有社債を除く。

国内リテールハイブリッド社債の発行（6月）

機関投資家向けの起債成功に続き、リテール向けも旺盛な需要を受け4,050億円が順調に完売。9月の償還予定分（4,556億円）のリファイナンスが完了

発行総額	4,050億円 機関投資家向け(2月)：1,770億円
利率^{*1}	当初5年固定：2.75%
年限	35年ノンコール5年
格付上の資本性	50%（JCR/S&P） ※5年後に資本性はゼロとなる

2016年との発行金額比較

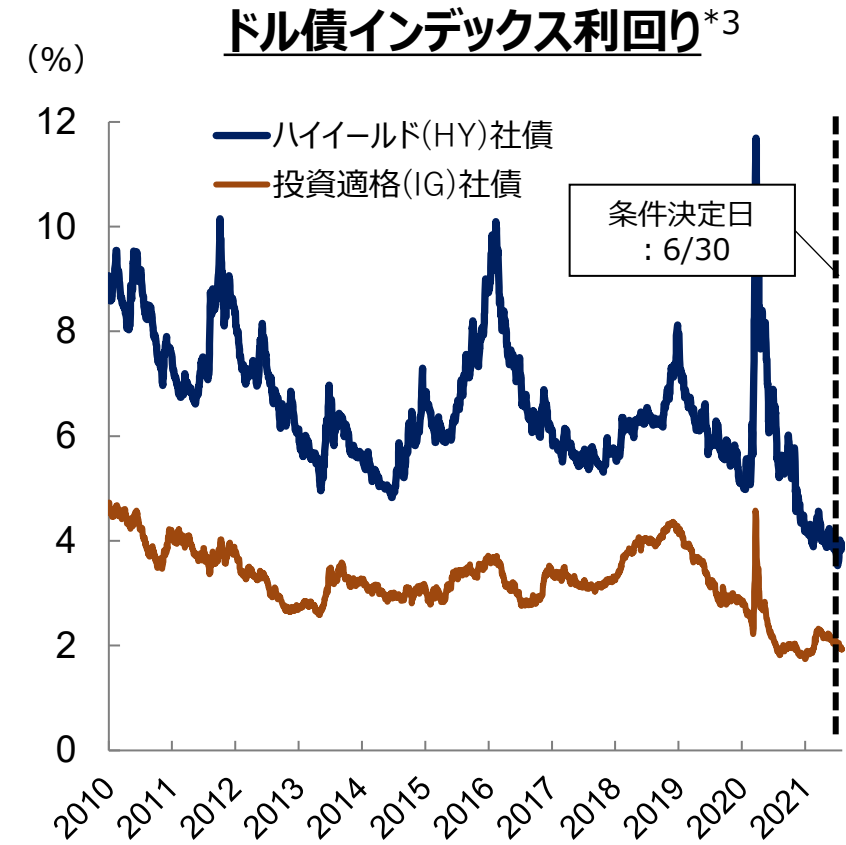


*1 5年後以降は変動金利。5年後：1年JGB+310bps、20年後：1年JGB+315bps、25年後：1年JGB+385bps
*2 機関投資家向けは、25NC5（556億円）および27NC7（154億円）の合計、個人投資家向けは25NC5（4,000億円）

外貨建てシニア社債の発行（7月）

良好な起債環境を捉えた機動的な調達によって、財務柔軟性を確保
当社過去最大/Reg S ハイールドとして過去最大の\$7.4Bを発行

発行総額 ^{*1}	\$7,360M (8,139億円) ドル建て：\$3,850M ユーロ建て：€2,950M
平均利率 ^{*2}	4.52% (ドル換算) 2.88% (円換算)
年限	ドル建て：3.5年/5年/7年/10年 ユーロ建て：3年/5.5年/8年/11年
平均年限 ^{*2}	7.0年



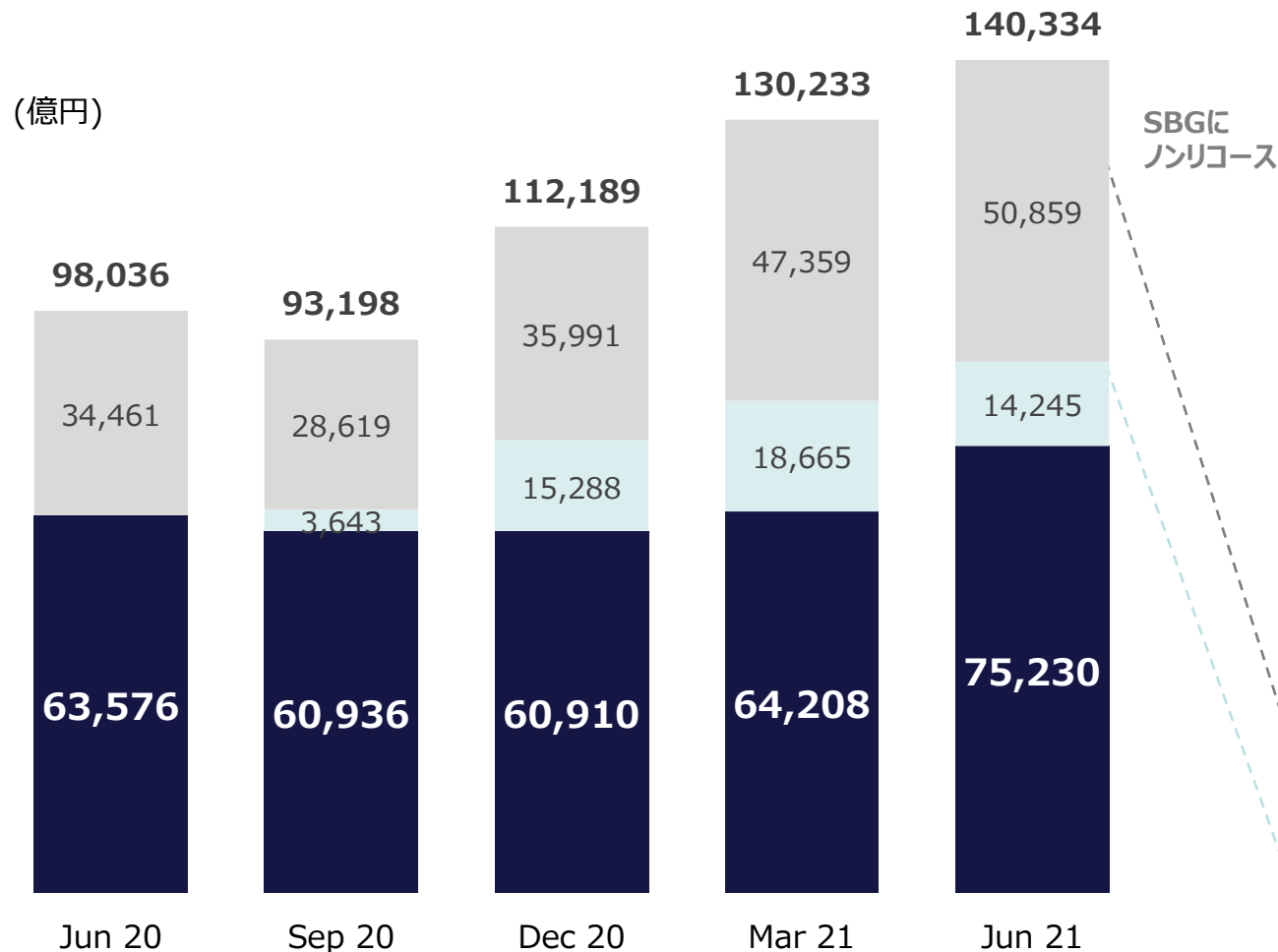
*1 額面ベース。1USD=110.58円、1EUR=131.58円

*2 各トランシェの発行金額による加重平均

*3 2021/8/5時点。Bloomberg Barclays US Corporate High Yield IndexおよびBloomberg Barclays US Corporate Investment Grade Indexを参照

SBG単体 有利子負債*1

リファイナンスを目的としたハイブリッド社債の発行や短期借入金等により有利子負債が増加



2021年3月末からの主な変動要因	
銀行ローンの増減	+6,857億円
国内ハイブリッド社債の発行	+4,050億円
SB Northstar の短期借入金 返済	-4,419億円
マージンローンの増額	+\$1.9B
株式先渡契約金融負債の増減	+1,398億円

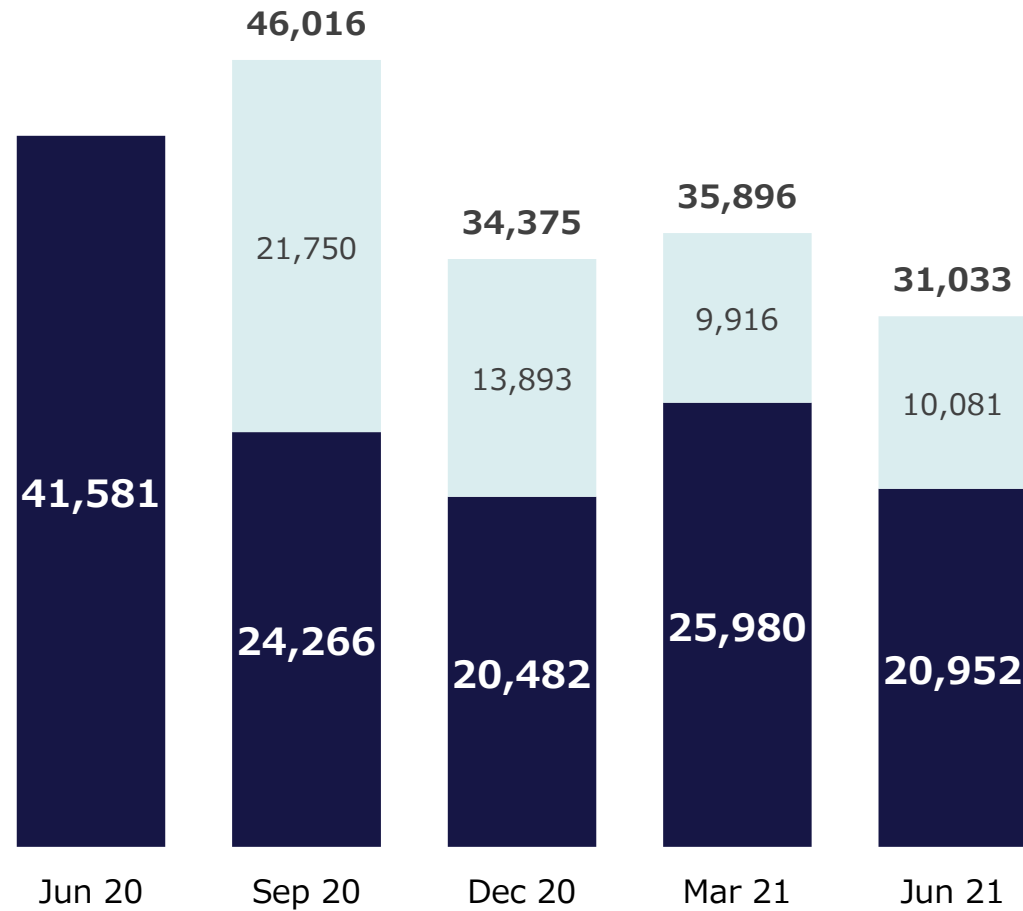
2021年6月末 内訳 (億円)	
SBG 借入金	
銀行ローン	17,546
ハイブリッドローン	834
その他	7
小計	18,387
SBG 社債・CP	
国内シニア債	22,233
国内劣後債/ハイブリッド債	18,023
外債	11,274
CP	2,628
小計	54,158
SBG リース負債	
	130
子会社 有利子負債	
株式先渡契約金融負債	32,255
マージンローン (SBGにノンリコース*2)	18,604
(SBGにリコース*2)	2,199
SB Northstar	14,245
その他	356
小計	67,658
合計	140,334

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計
 *2 Tモバイル株式を担保としたマージンローン(借入総額\$4.38B)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$1.99B)を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額とする。尚、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージンローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられている。

SBG単体 手元流動性

投資を拡大する一方、潤沢な手元流動性を維持

(億円)



SB Northstar 手元流動性

2021年3月末からの主な変動要因	
増加	減少
<ul style="list-style-type: none"> SVF1&2からの分配 (+\$3.6B) SB Northstarからの資金還流 (+\$3.0B) アリババ株式を活用した株式先渡売買契約の締結 (+\$3.0B) 銀行ローンの増減 (+6,857億円) 国内ハイブリッド社債の発行 (+4,050億円) 	<ul style="list-style-type: none"> SVF2キャピタルコール (-16,255億円) 税金の支払い*1 (-4,425億円) アリババ株式を活用した株式先渡売買契約の早期解約 (-\$2.9B) その他投資 (-3,033億円) 自己株式取得 (4-5月) (-2,578億円)

(注) 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等)。SBG単体ベース

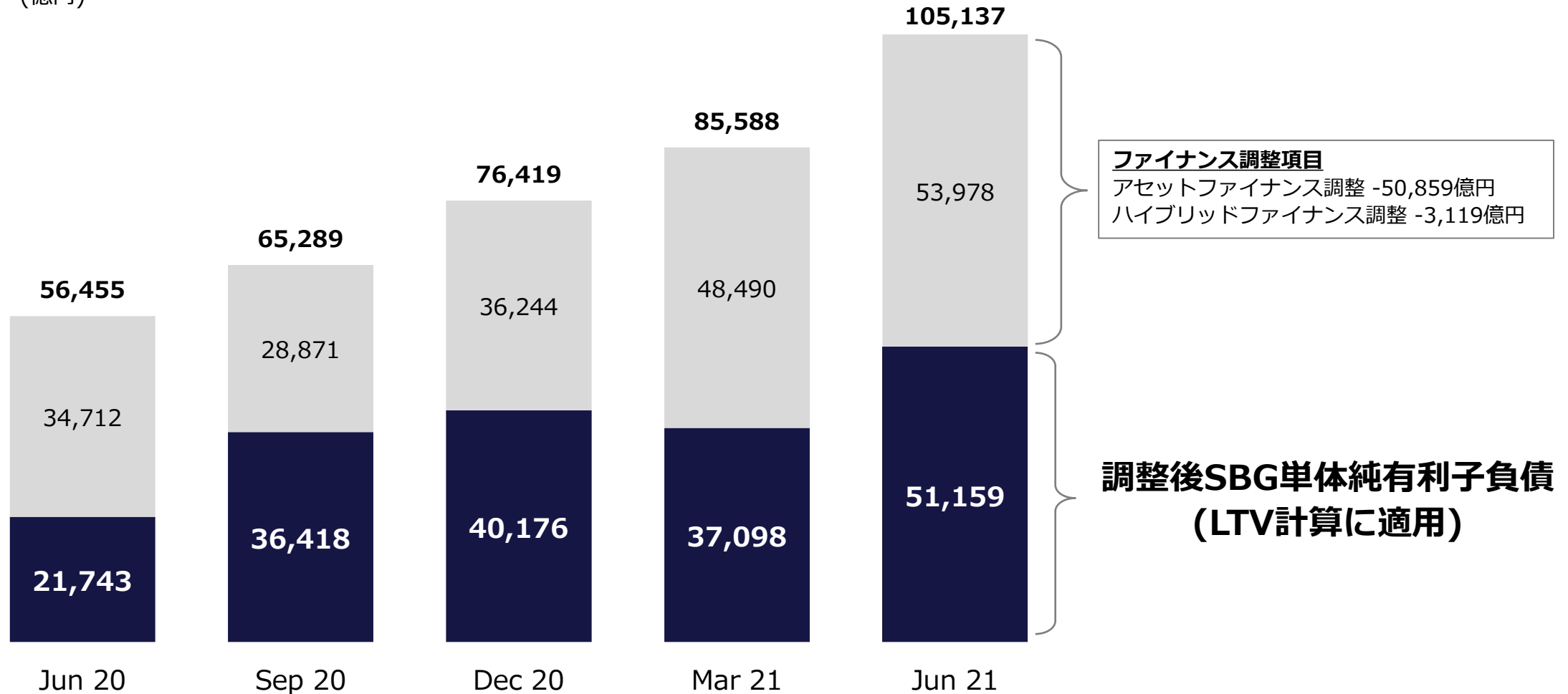
*1 SBKK株式売却益などに対する法人税：197,432百万円、子会社からの受取配当金に対する源泉所得税：245,053百万円

SBG単体 純有利子負債

純有利子負債は増加傾向であるものの、引き続き財務方針を堅持

SB Northstar除く

(億円)



(注) 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」に記載

- 投資事業の成果
- 財務の状況
- **財務戦略**
- ESGの推進

投資会社として最適な財務戦略の確立

財務方針の堅持

投資事業の拡大
再生産を可能に
する財務運営

1. 通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)

2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3. SVF1&2や子会社から 継続的な配当収入 を確保

投資先の財務は
独立採算

救済投資は
行わない

投資と回収の サイクルを確立

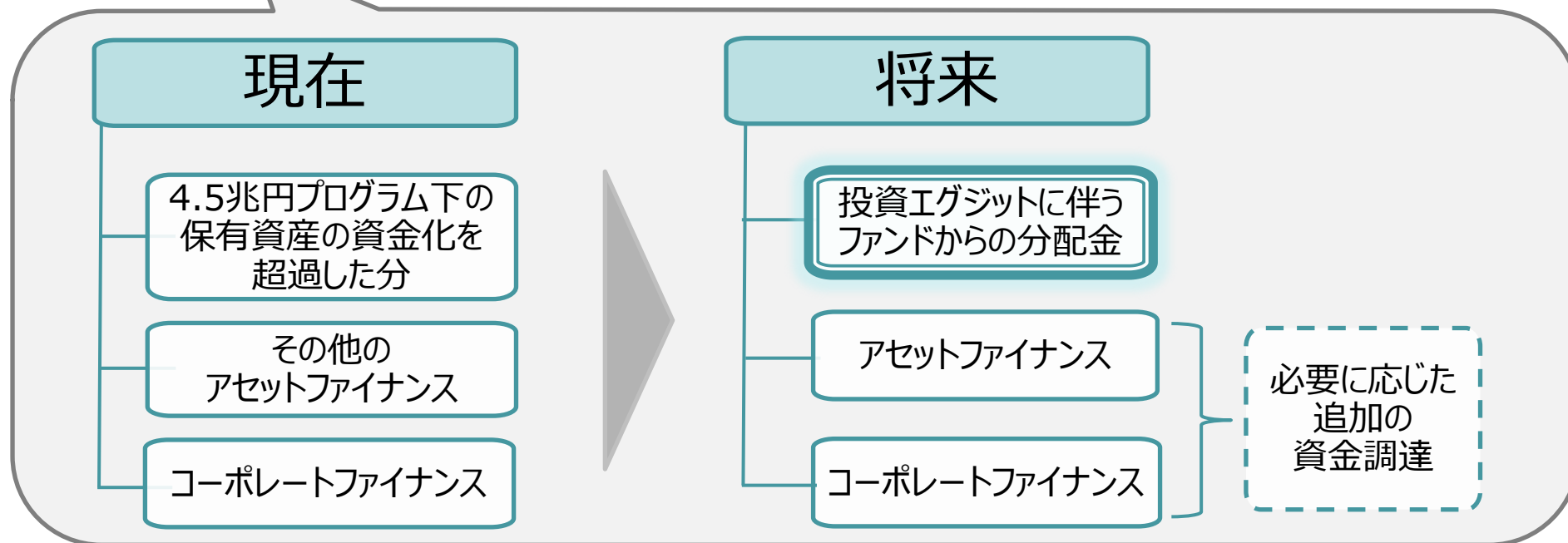
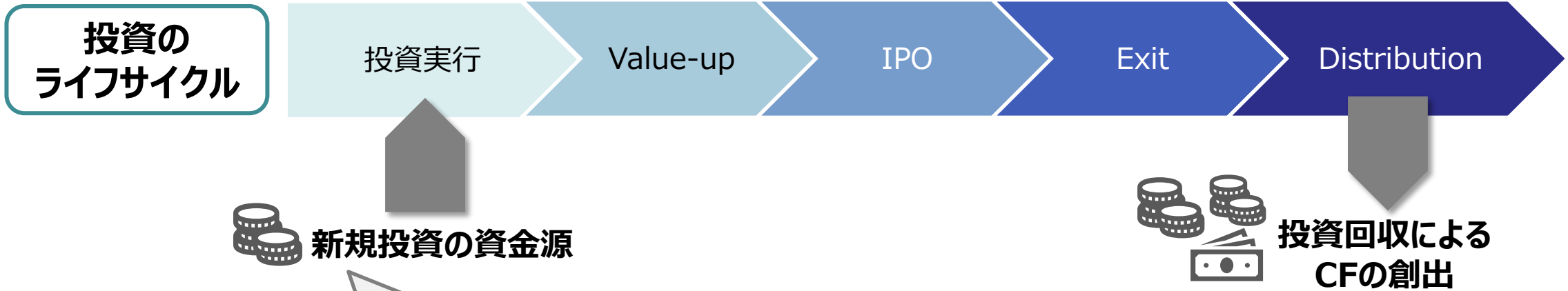
- 「投資」→「回収・CFの創出」→「再投資」のサイクルを確立
- 必要投資資金を十分に上回る回収時には、ステークホルダーへの還元も考慮
- 危機時には保有資産の資金化等による財務改善を優先

魅力的な投資機会を 捉える資金調達

- LTVを意識したレバレッジの活用
- 多様な調達手段の最適ミックス（手法/市場/プロダクト等）
- 市場・金融機関との対話を重視

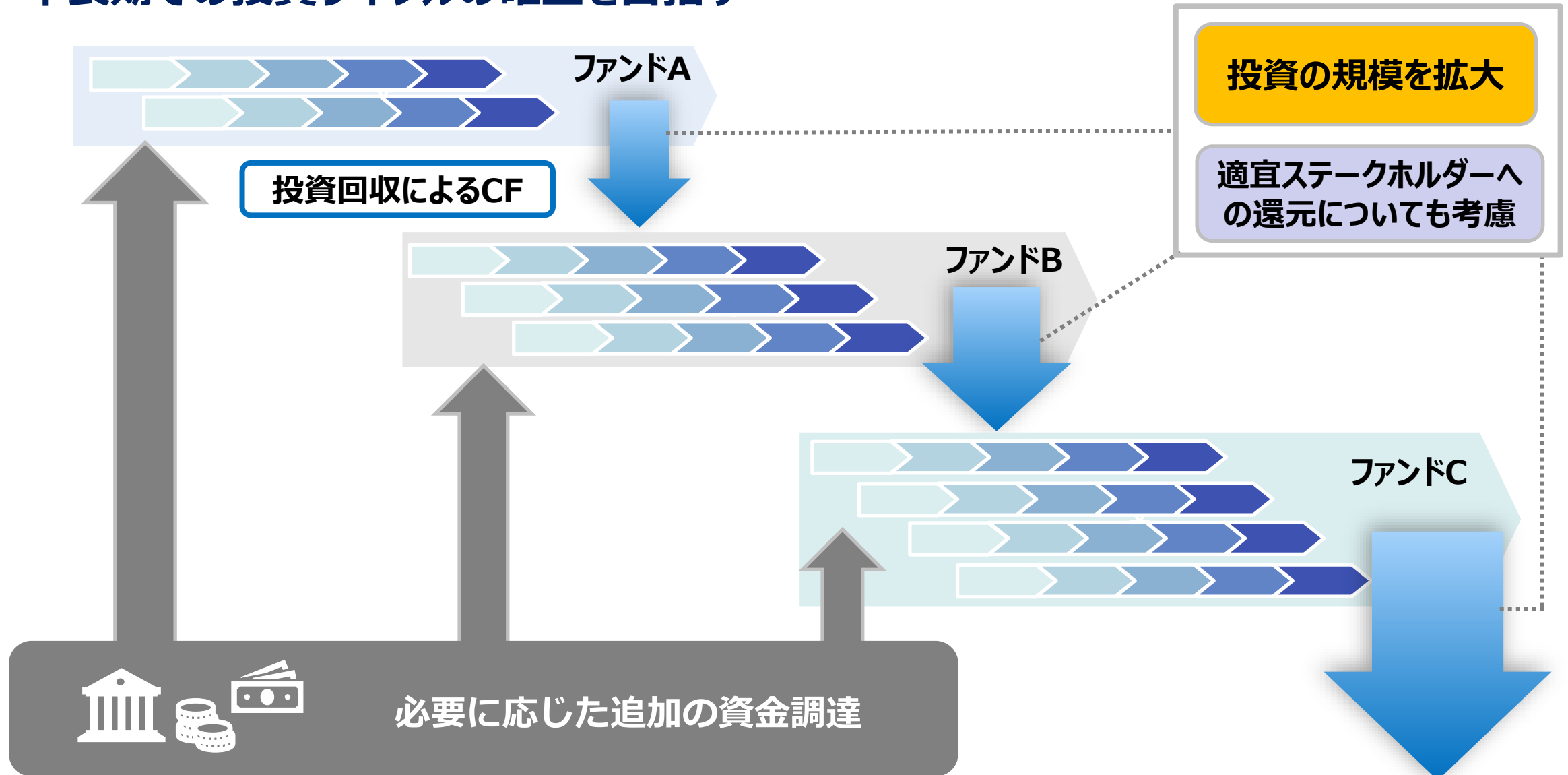
投資と回収のサイクル (イメージ)

将来の新規投資資金源の一つは、投資エグジットによるキャッシュイン



投資と回収のサイクル (イメージ)

中長期での投資サイクルの確立を目指す



キャピタルアロケーションの考え方

財務方針の堅持が第一。そのうえで、3本柱のベストミックスを機動的に判断

財務方針の堅持

財務改善

株主還元

成長投資

- 投資事業の成果
- 財務の状況
- 財務戦略
- **ESGの推進**

E : 気候変動へのさらなる取り組み

温室効果ガス削減に向けて具体的な取り組みを推進

- **主要子会社** : 削減目標達成に向けて順調に推移

目標	<p>2030年までに ネットゼロカーボン達成</p>	<p>2030年度までに カーボンニュートラル達成</p>	<p>2023年度までに使用電力の 100%再生可能エネルギー化</p>
進捗	<p>FY20 : 事業活動における使用電力の70% の再生エネルギー化完了</p>	<p>FY20 : 基地局再エネ化30%完了 FY21 : 基地局再エネ化50%に向け順調に推 移</p>	<p>FY21 : 5月に再エネ電力購入開始</p>

- **SBG** : 気候変動対応の取り組み強化

<ul style="list-style-type: none"> • FY20 SBG単体としてカーボンニュートラル達成 • FY21 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）に沿った情報開示を積極的に推進 気候変動対策としてのグループ目標の設定も進める
--

S：新型コロナウイルス対応

ワクチン接種：職域を超えた社会貢献としての大規模接種を実施

- 6/15スタート、全国8か所での接種会場運営
 - 約**7.8万**接種完了（8/2現在）
 - 対象：医療従事者、地域住民、取引先社員、グループ社員および家族



SB新型コロナウイルスPCR検査センター

- 引き続き無利益で唾液PCR検査を提供
- 総検査数および検査キャパシティは**当初計画の2倍に**（7/30現在）
 - 総検査数：**200万件**を突破
 - 検査キャパシティ：**約2万1千件/日**
- ゲノム解析事業を開始(6/8)
 - 新型コロナウイルスの変異株監視体制強化に貢献



G : ガバナンス

取締役会におけるダイバーシティ&インクルージョンを推進

- スキル・ジェンダー・国籍の点で多様性を実現
- 社外取締役の割合は、9人中5人の過半数

氏名	SBGにおける地位	SBGが特に期待する分野 (最大3つ)						
		企業経営	金融・M&A	財務・会計	法律・ガバナンス	テクノロジー	学識経験	多様性
孫 正義	代表取締役	○	○			○		
後藤 芳光	取締役	○	○	○				
宮内 謙	取締役	○	○			○		
川邊 健太郎	取締役	○	○			○		
飯島 彰己	取締役 (独立社外)	○	○		○			
松尾 豊	取締役 (独立社外)		○			○	○	
リップブー・タン	取締役 (独立社外)	○				○		○
襟川 恵子	取締役 (独立社外)	○				○		○
ケン・シーゲル	取締役 (社外)		○		○			○

ESG統合：投資プロセスへのES要素の組み込み

「ポートフォリオ会社のガバナンス・投資指針に関するポリシー」の改定（2021年4月）

- 当社のESGへの取り組み姿勢を投資ポリシーに組み込み
- ガバナンス要素のみならず環境・社会要素に起因する機会とリスクを評価、投資判断や投資後のモニタリングに活用

現在、各投資エンティティで、運用プロセスの枠組みを策定中

- 事業領域ごとに重要性の高い環境・社会要因の分析を実施、今後運用プロセスを具体化

運用プロセス導入のマイルストーン（予定）

FY21				FY22
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
各投資エンティティにおける運用プロセスの枠組みの策定		フィージビリティスタディ		改善
				年次評価

ESG関連情報の開示拡充により、ESGインデックス構成銘柄に選定

インデックス名	採択時期	評価ポイント
FTSE4Good Index Series  FTSE4Good	2021年6月 新規	環境や人権等に関するポリシー等を含む 情報開示の拡充
FTSE Blossom Japan Index  FTSE Blossom Japan	2021年6月 新規	
MSCI日本株女性活躍指数(WIN)	2019年11月	従業員全体と管理職における高い 女性比率

SBGの「アニュアルレポート2021」でも、ESG関連の情報発信を更に強化

- 取締役および監査役のスキルマトリックスを新たに開示
- ESG関連ページを拡充

Appendix

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

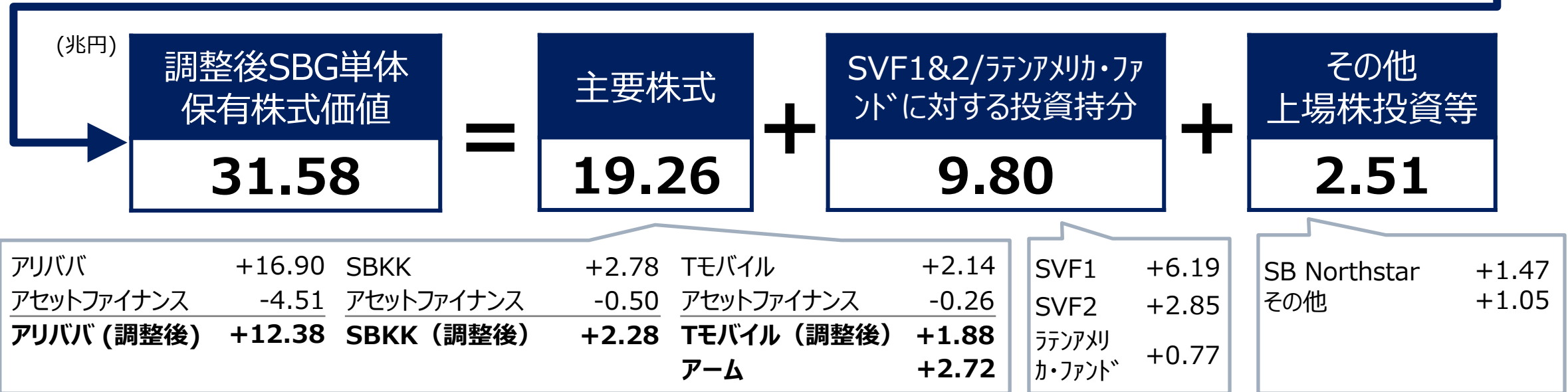
(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

5.12兆円

= 16.2%

(V) 調整後 SBG単体 保有株式価値

31.58兆円



(注) 上場株価および為替レートは、2021年6月末時点

- アリババ：SBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出。下記の同社株式を活用したアセットファイナンスの決済に必要な金額を控除
同社株式を活用した複数の先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・コールスプレッド）の満期決済金額（2021年6月30日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（27,500億円）、
2021年3月および6月に実行したアリババ株式を活用したマージンローン負債残高相当額（11,003億円）およびSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージンローンの負債残高相当額（6,625億円）を控除
- SBKK：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出。同社株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額（4,990億円）を控除
- Tモバイル：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出。（ドイツテレコムが受領した株式購入オプションの対象となる株式数（101,491,623株）を含む）。一定の条件下でTモバイル株式（48,751,557株）をSBGが無償で取得できる権利の公正価値
およびTモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加算
ドイツテレコムが受領した株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額およびTモバイル株式を担保としたマージン・ローンの負債残高相当額（4,810億円）のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額（2,611億円）を控除
（Tモバイル株式を担保としたマージンローン（借入総額\$4.38B）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠（\$1.99B）を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としている）
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF1：SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2：SVF2の保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- ランアメリカ・ファンド：ランアメリカ・ファンドの保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- SB Northstar：SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値および
SB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額（6,625億円）を加算して算出
- その他：上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

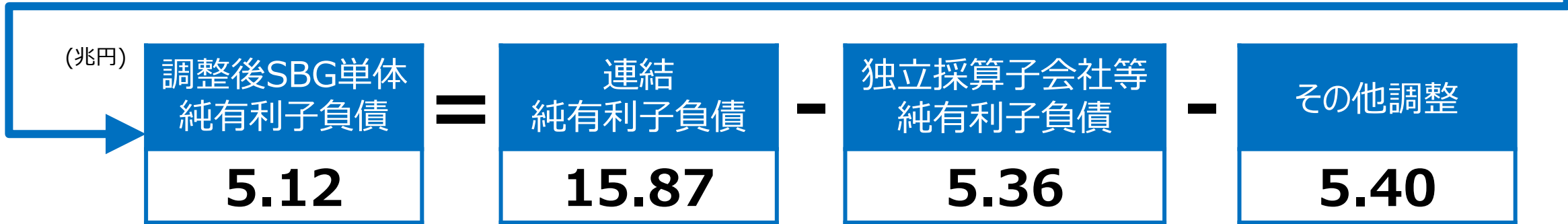
(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債*1

5.12兆円

= 16.2%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

31.58兆円



ソフトバンク事業	+4.83	SVF2	-0.22	ハイブリッドファイナンス調整*2	+0.31
アーム事業	-0.09	ラテンアメリカ・ファンド	-0.02	アセットファイナンス調整*3	+5.09
SVF1	+0.38	SB Northstar	+0.42		
		その他	+0.06		

*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない

*2 2017年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。
2016年9月・2021年2月・2021年6月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除

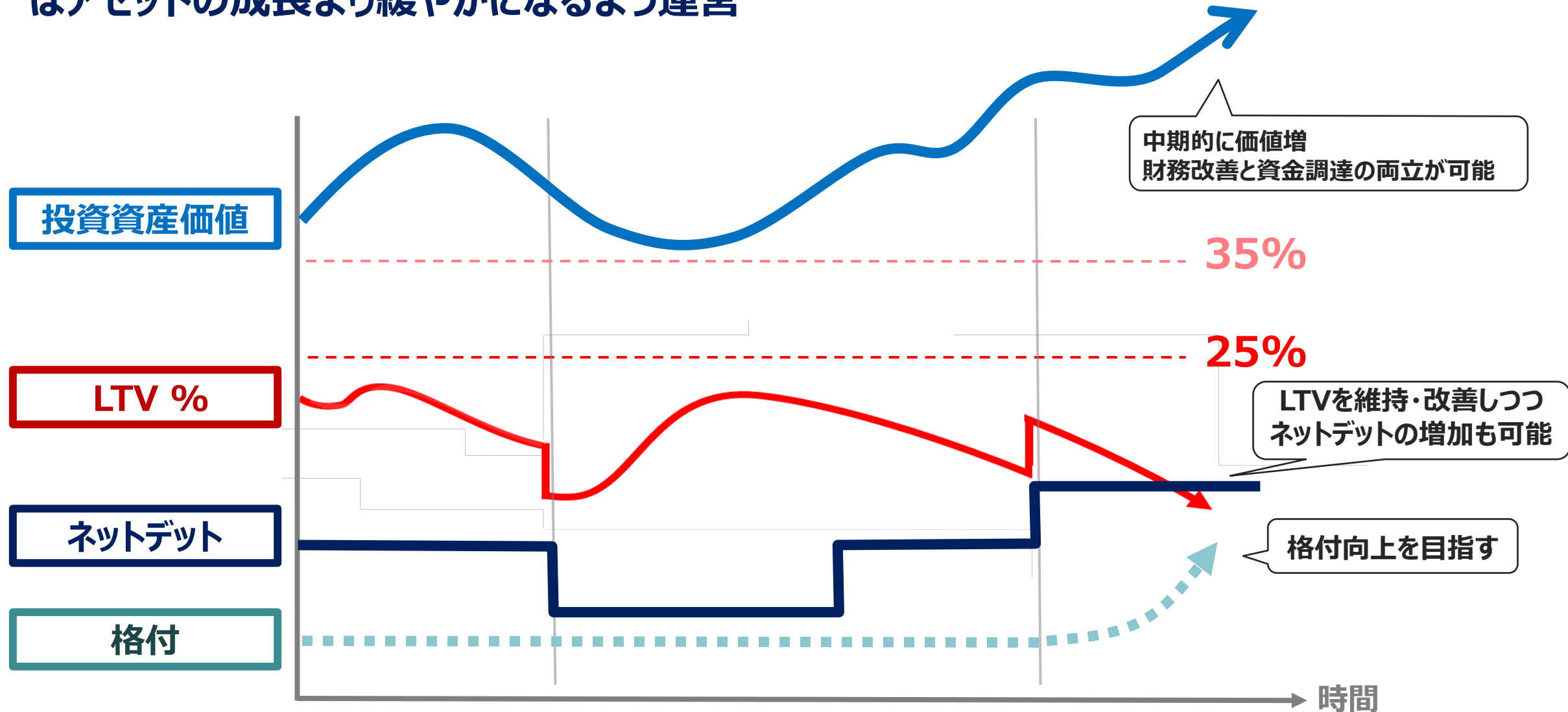
*3 純有利子負債は以下の金額を考慮

a) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（フロア契約・カー契約）に係る株式先渡契約金融負債(32,255億円)、SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額（4,990億円）および2021年3月および6月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額（11,003億円）の合計

b) Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額(4,810億円)のうちノンリコースのアセットファイナンスとしている金額(2,611億円)を純有利子負債から控除。（Tモバイル株式を担保としたマージン・ローン（借入総額\$4.38B）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$1.99B)を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としている。なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージンローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられている。）

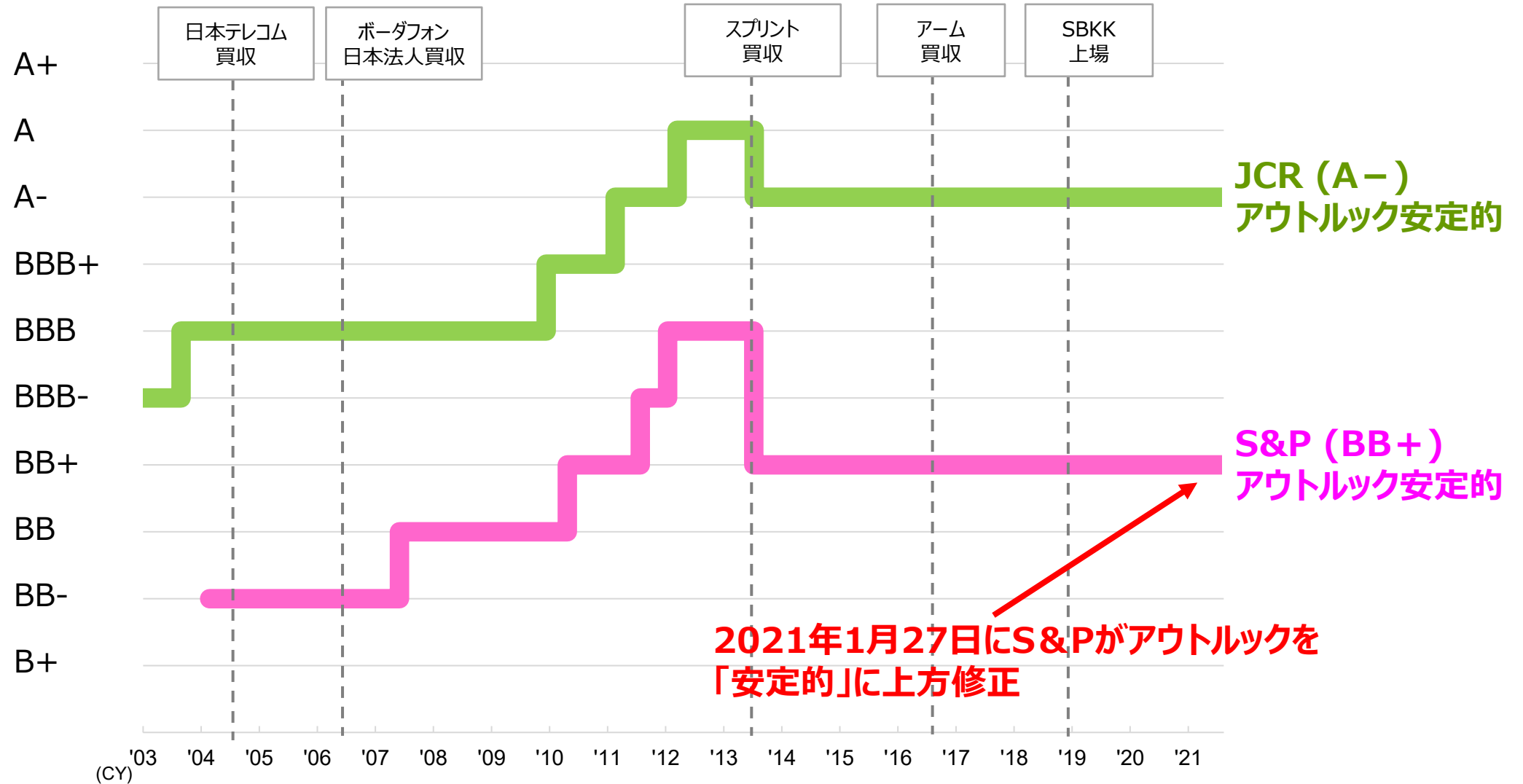
目指すべき財務運営（イメージ）

投資の拡大再生産のため資金調達を継続するが、財務規律を守り、ネットデットの増加はアセットの成長より緩やかになるよう運営



SBGの格付推移

投資持株会社の格付規準のもと、格付の向上を目指す



(注) 2021年8月11日時点

SVF1 : 投資成果 (2021年6月末時点)

(\$ B)		(a) *2 投資額	(b) *1 時価 (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)
(A)	上場投資先 合計	\$33.8	\$83.4	+\$49.6
(B)	未上場投資先等 合計	\$52.1	\$60.8	+\$8.7
(C)=(A)+(B)	SVF1 合計 (SBG連結目線)	\$85.9	\$144.2	+\$58.3
		(d) 累計支払額	(e) 価値合計	
	SBG 合計 (ネット)	\$27.3	\$59.2	
(内訳)	SVF1の純資産価値におけるSBGの持分		\$46.0	
	SBGへ分配済の金額 *3		\$3.1	
	SBGが受け取る成功報酬 *4		\$10.1	

*1 時価(グロス)：投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと'21年6月30日時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、取引手数料、投資関連の資金調達およびその他のファンド関連の諸費用や負債考慮前

SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。

*2 投資額：投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料 (純額) の合計

*3 SBGへ分配済の金額：SVF1開始時から'21年6月30日までに分配済の金額

*4 SBGが受け取る成功報酬：SBIA UKを通じて、SVF1開始時から'21年6月30日までにファンドの運営管理者として得た成功報酬の合計

SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めない。累計投資パフォーマンスを純額で表示

SVF1 : 上場投資 (2021年6月末時点)

(\$ M)	会社名	(a) 投資額 *1	(b) 時価 (グロス) *2	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 *3
	Coupang	2,729	23,760	+\$21,031	8.7x
	DoorDash	680	10,861	+\$10,181	16.0x
	Uber	7,666	11,308	+\$3,642	1.5x
全持分売却済	NVIDIA	2,878	5,813	+\$2,936	2.0x
	Guardant Health	308	2,709	+\$2,401	8.8x
	Full Truck Alliance	1,700	4,015	+\$2,315	2.4x
	DiDi	12,073	13,694	+\$1,621	1.1x
	Auto1	741	1,790	+\$1,049	2.4x
	Vir Biotechnology	199	1,069	+\$870	5.4x
	Opendoor	450	1,305	+\$855	2.9x
	Relay Therapeutics	300	1,021	+\$721	3.4x
全持分売却済	Slack	334	1,018	+\$684	3.0x
	Zymergen	404	1,065	+\$661	2.6x
	Compass	1,082	1,739	+\$657	1.6x
全持分売却済	Ping An Good Doctor	400	828	+\$428	2.1x
全持分売却済	10x Genomics	31	338	+\$307	10.9x
	OneConnect	100	54	-\$46	0.5x
	ZhongAn	550	420	-\$129	0.8x
	View	1,175	561	-\$614	0.5x
(A)	上場投資先 合計 (グロス)	\$33,800 (3.7兆円)	\$83,371 (9.2兆円)	+\$49,572 (+5.5兆円)	2.5x
(B)	未上場投資先*	\$52,169	\$60,825	+\$8,656	
(A)+(B)	SVF1 合計 (SBG連結目録)	\$85,969	\$144,196	+\$58,227	

1ドル = 110.58円('21年6月30日TTM)で換算

*1 投資額：投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料（純額）の合計

*2 時価(グロス)：投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと'21年6月30日時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、取引手数料、投資関連の資金調達およびその他のファンド関連の諸費用や負債考慮前

*3 倍率：Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

SBG連結目録：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めない。累計投資パフォーマンスを純額で表示

SVF2 : 投資成果 (2021年6月末時点)

(\$ B)

		(a) 投資額 ^{*2}	(b) 時価 (グロス) ^{*1}	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)
(A)	上場投資先 合計	\$2.9	\$7.0	+\$4.2
(B)	未上場投資先等 合計	\$17.3	\$18.0	+\$0.6
(C)=(A)+(B)	SVF2 合計 (SBG連結目線)	\$20.2	\$25.0	+\$4.8

		(d) 累計支払額	(e) 価値合計
	SBG 合計 (ネット)	\$22.5	\$27.9
(内訳)	SVF2の純資産価値におけるSBGの持分		\$24.6
	SBGへ分配済の金額 ^{*3}		\$2.1
	SBGが受け取る成功報酬 ^{*4}		\$1.2

*1 時価(グロス)：投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと'21年6月30日時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、取引手数料、投資関連の資金調達およびその他のファンド関連の諸費用や負債考慮前

*2 投資額：投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料(純額)の合計

*3 SBGへ分配済の金額：SVF2開始時から'21年6月30日までに分配済の金額

*4 SBGが受け取る成功報酬：SBIA UKを通じて、SVF2開始時から'21年6月30日までにファンドの運営管理者として得た成功報酬の合計

SBG連結目線：累計投資パフォーマンスを純額で表示

SVF2 : 上場投資 (2021年6月末時点)

(\$ M)

会社名	(a) 投資額 ^{*1}	(b) 時価 ^{*2} (gross)	(c) = (b) - (a) 損益 (gross)	(d) = (b) / (a) 倍率 ^{*3}
Beike	1,350	5,053	+\$3,703	3.7x
Full Truck Alliance	250	470	+\$221	1.9x
Dingdong Maicai	325	534	+\$209	1.6x
JD Logistics	601	629	+\$29	1.0x
Zhangmen	105	123	+\$18	1.2x
Qualtrics	24	31	+\$7	1.3x
Seer	205	168	-\$37	0.8x
(A) 上場投資先 合計 (gross)	\$2,859 (0.3兆円)	\$7,009 (0.8兆円)	+\$4,150 (+0.5兆円)	2.5x
(B) 未上場投資先 ^等	\$17,344	\$17,973	+\$630	
(A)+(B) SVF2 合計 (SBG連結目録)	\$20,203	\$24,982	+\$4,779	

1ドル = 110.58円(2021年6月30日TTM)で換算

*1 投資額：投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料 (純額) の合計

*2 時価(gross)：投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと21年6月30日時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、取引手数料、投資関連の資金調達およびその他のファンド関連の諸費用や負債考慮前

*3 倍率：Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(gross)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

SBG連結目録：累計投資パフォーマンスを純額で表示

上場株式等への投資 (2021年6月末時点)

(\$ M)

公正価値

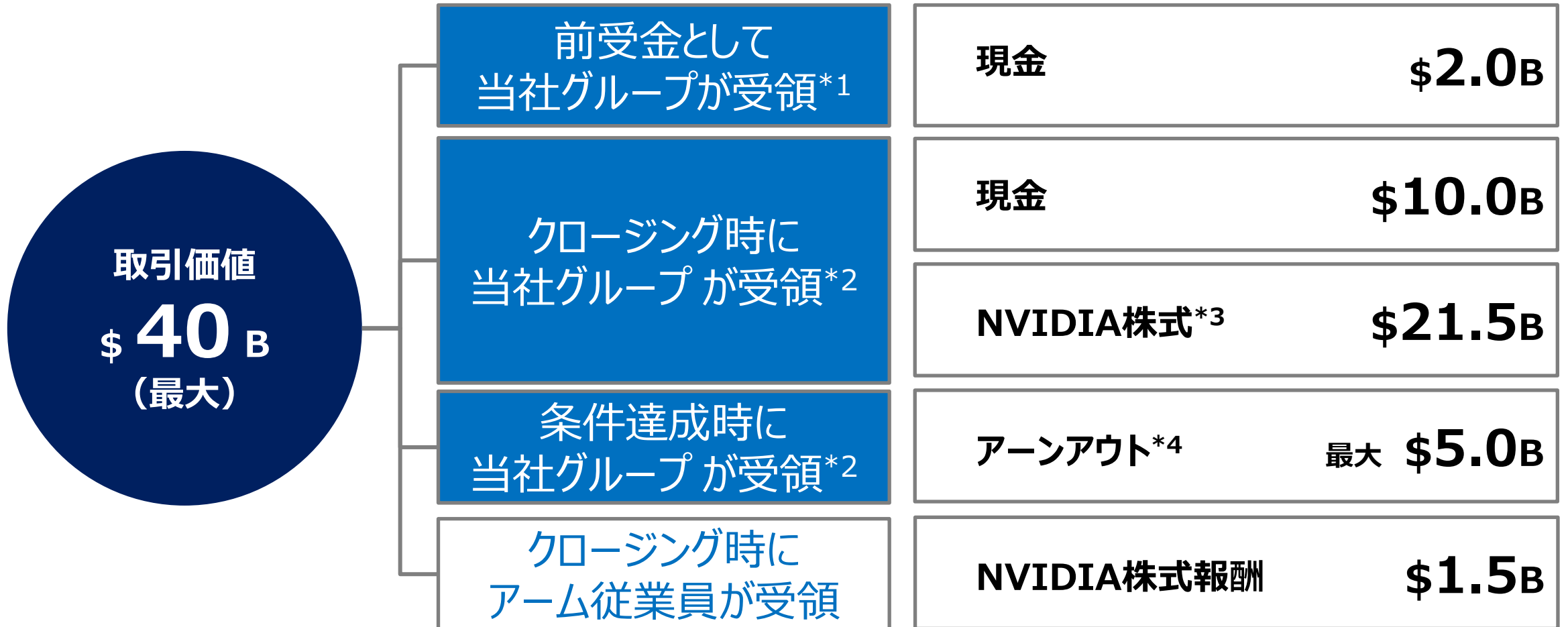
株式	Amazon.com	5,653
	TSMC ADR	812
	PayPal Holdings	702
	Pacific Biosciences of California	345
	AbCellera Biologics	216
	Century Therapeutics	59
	Lyell Immunopharma	57
	ironSource	53
	Sana Biotechnology	52
	Adaptive Biotechnologies	51
	Graphite Bio	31
	SPACs*1	467
	その他	3,276
NVIDIA*2	210	
その他	転換社債	1,641
合計		13,629

*1 SBIA US子会社のSPAC3社（公正価値\$52M）を含む。なお、SBIA US子会社のSPAC3社への投資は、連結決算では内部取引として消去される。

*2 NVIDIA Corporation株式はSBGが保有

NVIDIAへのアーム株式売却契約の締結

当社はNVIDIAの主要株主（約6.7-8.1%見込）として長期的な成功に引き続きコミット



*1 Softbank Group Capital Limited (SBGC) およびアーム

*2 SBGCおよびSVF1

*3 SBGCおよびSVF1は、本取引のクロージング時にNVIDIA 普通株式44,366,423 株（株式分割の調整前）を受取。株式数は1株当たり\$484.6007（20年9月10日に終了した連続した30取引日の同社普通株式終値の平均）に基づき決定

*4 2022年3月31日に終了する1年間のアームの売上高およびEBITDA（調整後ベース）がNVIDIAと合意した目標値またはフロア値を達成することを条件とした支払。最大合計\$5.0Bの現金またはNVIDIA普通株式最大10,317,772株（株式分割の調整前）を受取

連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債*1

(単位:億円)

	Jun 20	Sep 20	Dec 20	Mar 21	Jun 21
SBG単体	98,036	93,198	112,189	130,233	140,334
うち、SB Northstar	-	3,643	15,288	18,665	14,245
SVF1&2	1,591	1,563	2,603	4,442	5,433
ソフトバンク事業	55,735	57,153	58,045	56,921	62,274
その他（アーム、ラテンアメリカ・ファンド等）	3,329	3,063	3,397	3,884	4,296
合計	158,691	154,978	176,234	195,480	212,338

連結手元流動性*2

(単位:億円)

	Jun 20	Sep 20	Dec 20	Mar 21	Jun 21
SBG単体	41,581	46,016	34,375	35,896	31,033
うち、SB Northstar	-	21,750	13,893	9,916	10,081
SVF1&2	2,576	1,084	469	1,311	3,842
ソフトバンク事業	10,447	13,177	12,954	12,856	14,013
その他（アーム、ラテンアメリカ・ファンド等）	4,582	3,991	4,571	5,248	4,742
合計	59,187	64,268	52,368	55,312	53,630

連結純有利子負債*3

(単位:億円)

	Jun 20	Sep 20	Dec 20	Mar 21	Jun 21
SBG単体	56,455	47,182	77,814	94,337	109,301
うち、SB Northstar	-	-18,107	1,395	8,749	4,164
SVF1&2	-985	480	2,135	3,131	1,591
ソフトバンク事業	45,288	43,977	45,090	44,064	48,261
その他（アーム、ラテンアメリカ・ファンド等）	-1,253	-928	-1,173	-1,364	-446
合計	99,505	90,710	123,866	140,168	158,708

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行（旧ジャパンネット銀行）の銀行業の預金は含まない。

*2 手元流動性＝現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資。PayPay銀行（旧ジャパンネット銀行）の手元流動性は含まない。

*3 PayPay銀行（旧ジャパンネット銀行）の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ